

EMIDAS magazine

挑戦する製造業のための情報誌 [エミダスマガジン]

2023
Summer
Vol.52

特集

鑄造・ダイカスト

新東工業株式会社

芝浦機械株式会社

東洋機械金属株式会社

株式会社木村鑄造所／株式会社コヤマ／友鉄工業株式会社

株式会社サトキン／株式会社ハズ／株式会社トミナガ

昭和電気鑄鋼株式会社／日本継手株式会社

吉田工業株式会社／株式会社イナテック

岩機ダイカスト工業株式会社／株式会社秋葉ダイカスト工業所

株式会社キャストム／株式会社ニューテック

成長企業の経営戦略

株式会社ナガエ

EMIDAS STYLE

フジテック株式会社

株式会社ナガエ
長柄 洋一

ニッポンの未来は製造業が創る。

EMIDAS magazine

挑戦する製造業のための情報誌 [エミダスマガジン]

2023
Summer
Vol.52

成長企業の経営戦略

プレス金型、工作機械の製造・修理会社という
創業時のマインドがあつてこそ株式会社ナガエ
代表取締役社長 長柄 洋一

4

特集

「鑄造・ダイカスト」

6

新しい風を吹かせ、その風に乗れ ----- 7

室蘭工業大学 副学長 教授
日本鑄造工学会 会長

清水 一道

エミダス「新」分類 ----- 10

インタビュー 日本初の“砂型鑄造機”開発から、品質不良“ZERO”の追求まで
----- 14
新東工業株式会社新3SやIoT、SDGsで、新時代の「もうかる」モノづくりを支援
----- 16
芝浦機械株式会社日本から世界へ、『お客さまの価値向上』を目指して
----- 18
東洋機械金属株式会社加工スクランブル&
インタビュー

鑄物づくりから、かたちづくりへ！ / 株式会社木村鑄造所 ----- 20

柔軟なものづくりと持続可能な鑄造産業のリーディングカンパニー / 株式会社コヤマ

フルモールド鑄造で世界を拓く！ / 友鉄工業株式会社

0から1のものづくり / 株式会社サトキン

世のため人のため、インフラへの想い / 株式会社ハズ

品質・技術・人を伸ばす企業戦略 / 株式会社トミナガ

鑄鋼業界のトップリーダーを目指せ！ / 昭和電気鑄鋼株式会社

特殊鑄鉄の開発、新しい領域への挑戦 / 日本継手株式会社

未来に駆けるWell-being Company / 吉田工業株式会社

切削メーカーが始めた鑄物屋 / 株式会社イナテック

量産設計を見据えた内製金型&高品質な生産を可能にする設備力 / 岩機ダイカスト工業株式会社

グローバル化、素材開発による発展に向けて / 株式会社秋葉ダイカスト工業所

独自の技術と選択で重ねる、新たな挑戦 / 株式会社キャストム

石膏・消失鑄造で、短納期、金型レスで原品試作に挑戦！ / 株式会社ニューテック

鑄造特集 工場動画 ----- 36

■ EMIDAS STYLE <エミダス・スタイル>

フジテック株式会社 / ----- 37
一点特化の情報発信で新規売上額倍増

■ NCネットワークNEWS

展示会情報 ----- 38
海外へのPRに向けた新しいツールを試してみませんか？ ----- 40
FBCアセアン2023 ものづくり商談会 ----- 41
【参加者募集】セミナー&工場見学会 ----- 42

■ 会員MAP ----- 44

■ 会員サービス一覧 ----- 46

■ エミダスソーシングサービス ----- 48

プレス金型、工作機械の製造・修理会社という創業時のマインドがあつてこそ

株式会社ナガエ

代表取締役社長
長柄 洋一 氏

プレス、板金加工からダイカストへ

富山県第二の都市・高岡市は、伝統工芸の高岡銅器に代表される鋳物の町である。高岡銅器の職人技術の結晶ともいべき高岡大仏は、奈良大仏、鎌倉大仏に並ぶ日本三大仏を称する。「その流れを汲んでいるか」といって、さにあらずなんです」と株式会社ナガエ代表取締役社長・長柄洋一氏は笑う。1954年、長柄氏の祖父・常次郎氏がアルミ製品用プレス金型、工作機械の製作を行う作業場として市内横田町に創業したのが同社だ。

その後、規模を拡大しつつ市内にて移転。62年に、同社の動向を決定づけるガスメーター部品の製造を開始する。66年、現在の市内荒屋敷に移転。翌年にはダイカスト工場を竣工している。

「ダイカスト製造を始めたのは、ガスメーターが時代とともに鉄プレス製品からダイカスト製に代わったからです」

つまり同社は、ガスメーターという根幹をなす営業品目の変化とともにプレス、板

金加工からダイカスト製造へと転身したわけである。しかし、それが強みになった。アルミダイカスト技術＋金属加工技術の受注を可能にしたのだ。

鋳造から仕上げまでをワンストップ対応

「ダイカストは設備産業です。ガスメーターの繁忙期以外も、この設備を稼働させなければなりません」

70年代には、ダイカストによる花器や置物などの美術工芸品を業界初として生産開始している。

90年、CIを導入し、それまでの長柄製作所からナガエに社名変更。

長柄氏は2000年に入社。ダイカストの製造部門の現場で働き始める。05年には、中心になってダイカスト第二工場の竣工を行った。13年のナガエベトナムの設立と工場竣工の中心になったのも彼だ。

「それ以前から、中国に価格的に負けることが多く、海外展開を考えるようになりました。さまざまな要因から中国は候補から外れ、タイやインドネシアは自動車関

係が先行し我々の進出先としてはネガティブ。ベトナムがチャイナ＋1と言われた時期で、当方の事業可能性に合致したのです」

ベトナムには、本社工場に保有していない塗装ラインを設置。社内に保有する工程および、ナガエがハブになり全国の協力企業からの供給を受けることで仕上げ加工までワンストップの対応を可能とした。

「ナガエの位置づけは企画・設計・意匠提案から、ダイカストや砂型鋳物、各種加工、アッセンブリーを内製化しているアッセンブリーメーカーとなります。これもスタート時が、プレス金型、工作機械の製造・修理会社だったというマインドがあつてこそだと思います」

助走は終わった、すでに走り出している

ダイカスト製造は自動車関係が大半を占める。それ以外の10%の領域が、同社の営業品目だ。すなわち、建築金物、計量器、自動車、輸送機器、建設機械、医療・介護、農機具、機械、計測機器、弱電、通



信と多岐にわたる。これらを扱うテクノ事業部に加え、同社のもうひとつの顔がアート事業部である。美術工芸品から仏具、建築造形、インテリア小物までの企画・デザイン・設計・製造・製作施工を行う。

高岡銅器の伝統の流れをくむ銀雅堂（ぎんがどう）製品は、原型、鋳物、研磨いづれも伝統工芸を受け継いだ職人の手により丹精込めたインテリア製品だ。花器、酒器、兜、仏像、縁起物などをラインアップ。これらオリジナル商材についてはギフトショー、インテリアライフスタイル展に出品しているほか、ニューヨークやパリで開催される展示会にも出展している。

また、東京の吉祥寺駅にある「ゾウのはな子」の像や、八王子にあるカリスマホスト・ROLAND氏の博物館にある胸像など屋外モニュメントも制作。ダイカストのサプライヤーとして、特定のジャンルにこだわらず金属の美しさを広めている。

2016年、長柄氏は社長に就任。「ナガエベトナムについても、計画していた速度よりも遅いが、なだらかに階段は上ってきました」。ところが、ここに来てのコロナ禍である。「当社の売上構成比率の20%程度を占めるのが、ガスメーター部品です。その多くを占めるプロパンガス用のメー

ターの10年ごとの交換が法で定められています。それが、当社の繁忙期になるわけです。リーマンショックの時期は、ちょうどこの繁忙期のピークと重なっていました。ですから、影響が少なく済みました。ところが、今回のコロナ禍の場合には、プロパンガス用メーターの底の時期とちょうど重なってしまいました。今まさにその影響下にあります。そこに電気代の高騰や円安も加わって、今が一番厳しい状況かもしれません」

もちろん、この間も新分野の開拓には暇（いとま）がない。同社が企画製造したhoss NAGAEは、室内用物干しアイテムである。花粉や黄砂、PM2.5などの浮遊物、セキュリティ面から洗濯物の室内干しが一般化している。hoss NAGAEは、アルミ素材のほか、竹材を使用している。筍（たけのこ）を採るために栽培されていた孟宗竹の竹林が放置された結果、周囲の植生に悪影響を及ぼすのを竹害（ちくがい）と呼ぶ。竹を素材とすることで、社会問題の

ナガエ 変革&多角化の歴史	
2009年	ブランド事業新展開開始
2011年	NY 出展
2012年	パリ出展
2014年	ベトナム工場竣工（現在 スタッフ 90 名）
2016年	長柄洋一社長就任
2018年	アートオリジナルブランド事業 ナガエプリウス設立（アート事業 10 名、テクノ事業 10 名）
2019年	第三種医療機器製造販売業許可（許可番号 16B3X10007）を取得

ソリューションとなる。hoss NAGAEは天吊りスライド式、窓枠用などをラインアップ。機能面だけでなくスタイリッシュで、GOOD DESIGN AWARD 2021を受賞。また、同社が企画製造するアルミフレームによるナガエ避難所間仕切りも、同賞を受賞している。

「もはや助走期間は終わり、走りだしています」

経営者の素顔

趣味と実益を兼ねてa.278 for SLOW LIVINGというECサイトを立ち上げています。自社商品のほか、生活雑貨を扱うセレクトショップです。aは当社所在地の荒屋敷の頭文字。278は番地なんです。



企業公式サイト

エミダス会員番号：78032

Company Profile

◆会社名 株式会社ナガエ
◆所在地 〒933-0319 富山県高岡市荒屋敷 278

◆TEL 0766-31-1278（代）
◆FAX 0766-31-5585
◆URL <https://nagae.co.jp/>

取材・文：上野 歩／撮影：山本 基

特集

鑄造・ダイカスト

INTERVIEW

◆新東工業株式会社…………… P14

◆芝浦機械株式会社…………… P16

◆東洋機械金属株式会社…………… P18

◆株式会社木村鑄造所…………… P22

◆株式会社コヤマ…………… P23

◆友鉄工業株式会社…………… P24

◆株式会社サトキン…………… P25

◆株式会社ハズ…………… P26

◆株式会社トミナガ…………… P27

◆昭和電気鑄鋼株式会社…………… P28

◆日本継手株式会社…………… P29

◆吉田工業株式会社…………… P30

◆株式会社イナテック…………… P31

◆岩機ダイカスト工業株式会社…………… P32

◆株式会社秋葉ダイカスト工業所…………… P33

◆株式会社キャストーム…………… P34

◆株式会社ニューテック…………… P35



Column

新しい風を吹かせ、 その風に乗れ

室蘭工業大学 副学長 教授
日本鑄造工学会 会長
清水 一道

Muroran Institute of Technology
Kazumichi Shimizu

経済状況は、2020年下半期から2021年にかけて、業況は大企業製造業を中心に回復傾向にあったが、2022年に入り減少に転じている。事業に大きな影響を及ぼす社会情勢変化として、昨年度と比較すると原材料価格の高騰や半導体・素材不足などが目立っており、これはウクライナ情勢の緊迫の影響により、もともと上昇傾向にあった原油価格の高騰に伴い、広範なインフレが予想されてきており、原油価格の高騰は生産コストの増加に直結し、素材系業種においてその打撃は大きい。これら生産コストの増加分がスムーズな価格転嫁に繋がっていないため、製造業の売上高は増加したものの、利益率が押し下げられたことが業績の重しとなったと考えられる。2022年の鑄

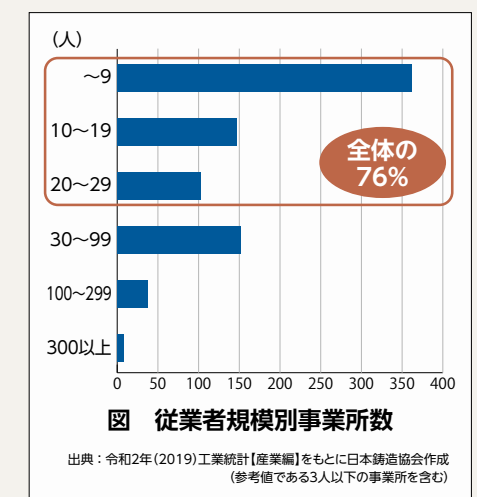
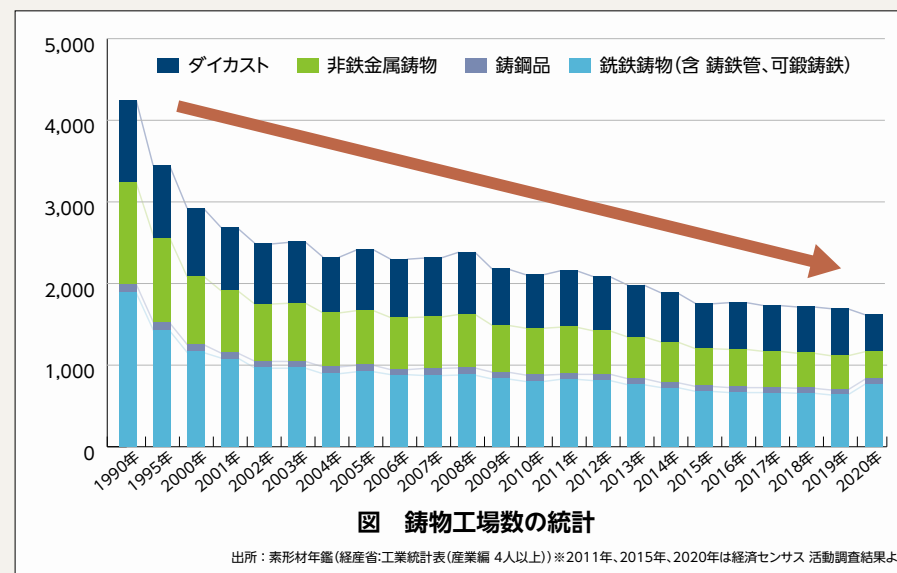
造品生産金額は1.38兆円、コロナの影響を受けた前年比で6.0%増となったものの、ピーク時2.0兆円の約70%の水準にとどまっている。

2022年の鑄物生産量は、現時点統計がでている9月までで、鉄系鑄物が約260万トン、非鉄系鑄物が約96万トンとなっており、2021年の同月までの統計と比較すると、鉄系鑄物で前年比110%、非鉄系鑄物で前年比300%と増加傾向にある。2023年度のコロナ禍による経済社会活動の制限はほぼ解消される見込みであり、内需を中心に景気の緩やかな回復が続くが、物価上昇、コスト増加に対する懸念が払拭されず、ウクライナ情勢が長期化することへの不安に加え、日本の場合は急速な円安が進んでい

る。生産拠点を海外に移転させているため輸出を増やしづらくなっているうえ、工業製品の輸入浸透度が高まっており円安のデメリットが増すことから、経済回復のテンポは鈍化すると推察される。

鑄造業界は、この30年間で、鑄物工場は4,241工場から1,620工場へと62%減し、特に、鉄鉄鑄物業は1,899工場から770工場へと約60%も減少し、ものづくり日本の製造業の根幹を揺るがし始めている。

その中でも、鉄鉄鑄物製造業809事業所のうち、30人未満の事業所が76%を占め、30人未満の中小・零細企業は、2次、3次下請け企業としてわが国のものづくりの重要な一端を担っている。従業員数（派遣、臨時を含む）は約24,000人を維持し、雇用創出に貢献している業界である。



昨今の脱炭素社会への対応を巡って日本の鑄造業の現状は、苛烈な国際競争の中、主要原材料の高騰、少子高齢化による労働者不足、電気料金の価格上昇などエネルギーコスト増などの問題で、生産が伸び悩んでいる。

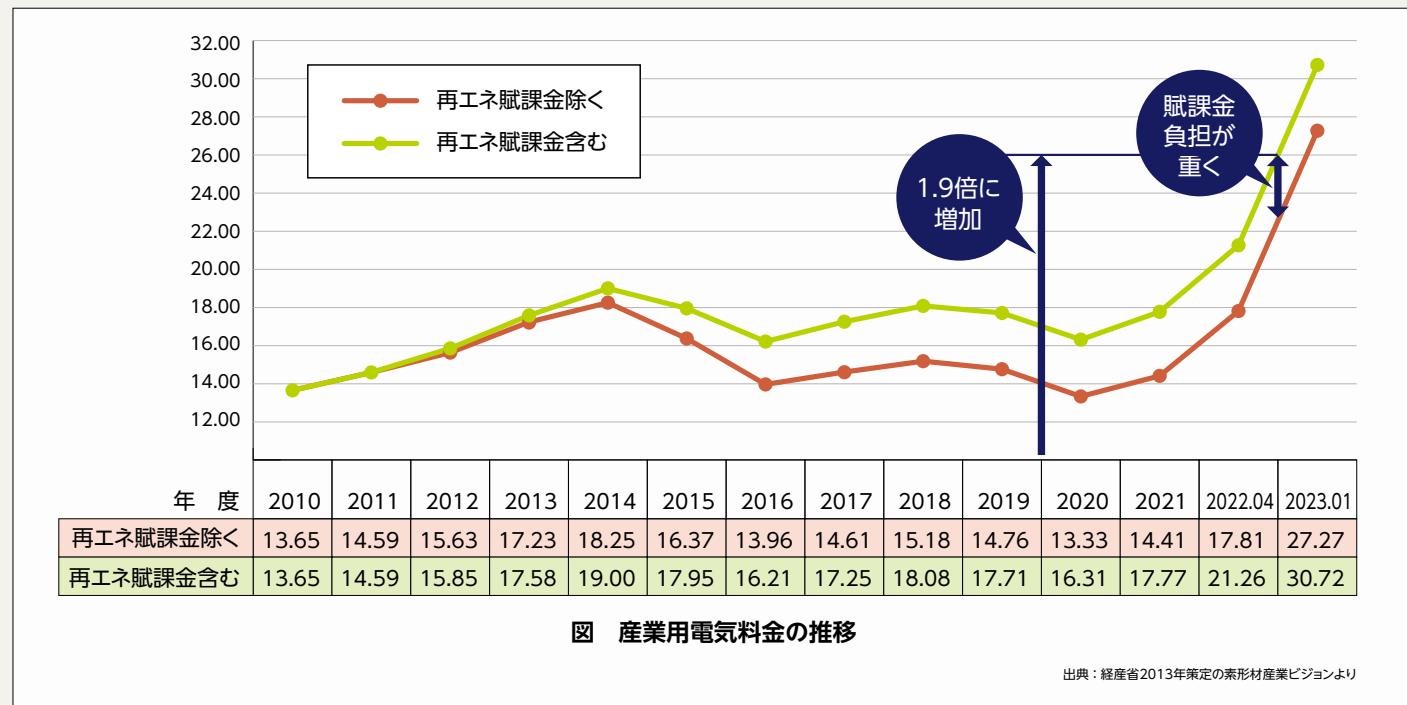
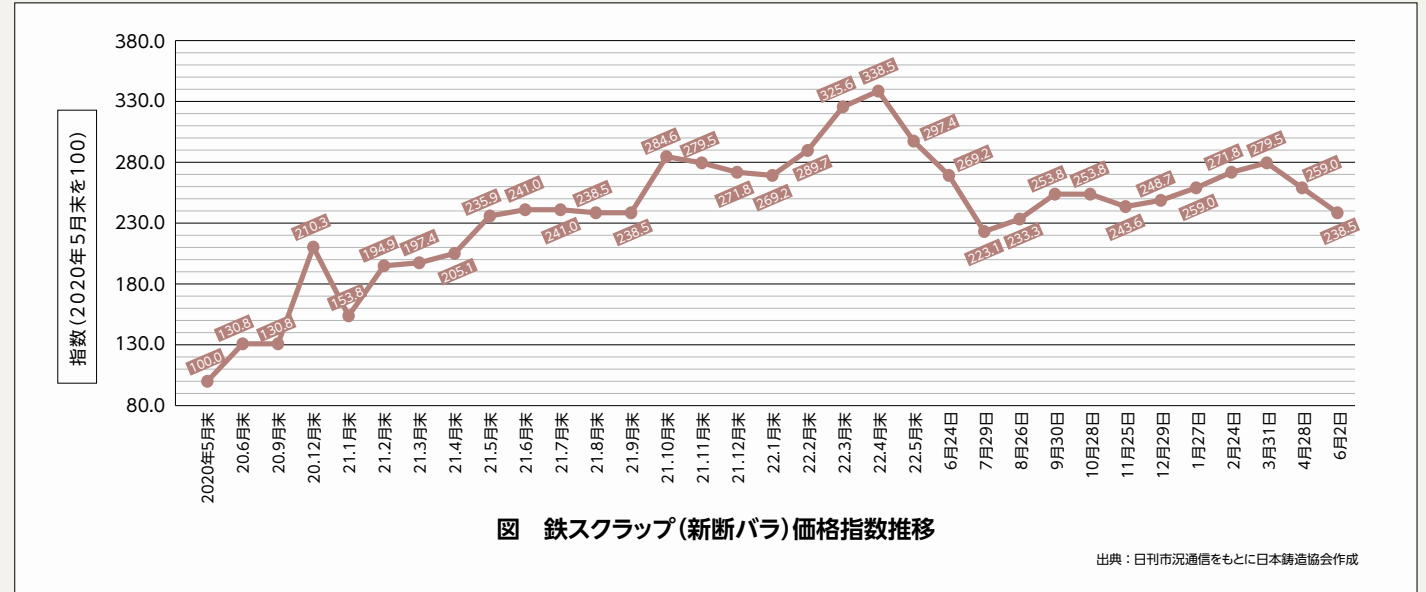
NCネットワーク独自の調査（27社）において、自社の経営課題となりうる要因に、（1）材料・エネルギーコストの高騰：62%（2）人材難：70%（3）環境問題の対応（CO₂削減）：66% とあげている。

鑄物業界では、溶解炉で鉄、アルミ・銅等を高温で熔解するため、電気やガスを多く使用するエネルギー多消費産業である。昨今の原油・LNG価格の高騰により、電気、ガス等のエネルギー価格が高騰している。特に鉄鉄鑄物製造業では、昨今の高騰により購入電力額が売上高の10%から20%に増加しており、経営に与える影響は大きい。鉄スクラップ、アルミ、銅をはじめとする鑄物製品の原材料・副資材価格が高騰している。中でも鉄スクラップの価格は、中国・東南アジア他、世界及び国内での生産回復により、需要が拡大、2020年11月以降、高騰が継続しており、2021年4月以降は対2020年5月指数で200超の高止まり状

態が続いており、2022年4月には約3.4倍に達した。主要原料の中でも、鉄スクラップはコロナ禍における製造業の停滞で国内需要が下がる中、海外向けへの輸出が増加している。現在ベトナム、韓国、台湾が主要輸出先となる中、中国が国内の電炉の比率を10%から20%へ高める目標を掲げると共に再生鋼鉄原料として規格を定め輸入を再開している。日本国内においても高炉から電炉転換という情勢もあり、鋼材価格の上昇と、質の高い鉄スクラップの抱え込みなどから主要原料の価格が高騰している現状である。

今後の鉄スクラップの確保にむけて、シップリサイクルが再燃している。シップリサイクルとは、技術的、或いは経済的に寿命を終えた船舶を解撤し、得られた資源を再利用する一連のプロセスのことである。竣工から解撤までの期間である船の寿命は、概ね20年前後といわれ、重量ベースで95%程度はリサイクル可能といわれており、解撤後、鋼材・非鉄金属材料・什器・舶用品・ポンプ・エンジン・発電機等が、再利用されている。大型船の世界的な解撤場所は、南アジアに集中しており、2020年DWTベースでは、バングラデシュが約半数(46.3%)を占め、インド、パキスタン、を加えた

3か国で解撤量の約90%を占めている。2020年COVID-19の影響で、クルーズ客船の稼働が困難となり、老朽船の廃船処分を決断、解撤予定船が押し寄せた。複数の解撤場所で、豪華客船が解体の順番を待っている状況である。船舶には、良質な鉄が使用されており、9割前後リサイクルが可能と言われている。解撤で出された鉄スクラップを電炉にて溶解・製錬することでできた鉄鋼はCO₂の排出量を低減できることもあり、脱炭素にむかう世界でスクラップの需要が増加傾向にある。サーキュラーエコノミー（循環型経済）の観点から、船舶が安全でより環境負荷の低いスキームで解撤され、資源が有効活用されるニーズがますます高まっている。日本国内においての環境・労働安全に配慮したリサイクルの実施は、海事産業全体の持続的な発展にとって必要不可欠であり、比較的早いタイミングから、シップリサイクル条約の批准に向けて動いている。現在、国内で安全に解撤が行える場所であることを証明するための認証制度を設ける動きも広がっているが大型船舶の解撤までには至っておらず、早急な対応が必要とされている。それを実現することでスクラップ枯渇問題を回避できると考える。



また、エネルギー事情においては、日本の発電設備容量は、現在2.7億kWで、中国、アメリカについて世界3位であり、発電電力量は、原子力が停止している影響で、現在は火力発電が全体の75%、再生可能エネルギーは水力を含め18%と、発電比率では世界46位である。政府が2015年に発表した2030年のエネルギー需給見通しでは、徹底的な省エネルギー推進により、石油危機後並の大幅なエネルギー効率改善を見込んでいる。再生可能エネルギーを現状の2倍22~24%と倍増、原子力を20~22%に引き上げ、石炭火力を26%、ガス火力を27%まで引き下げる。2050年までにGHGの実質排出量をゼロにする目標より、2030年度の電源構成も見直しが進んでいる。2021年現在では、日本の電源構成の約半分を火力発電に依存しており、中東情勢や日々変動する原油価格に左右され非常に不安定な変動が続いている。

労働者不足の問題では、日本は世界

的に見ても、急速に少子高齢化が進行している国の一つであり、生産年齢人口（15~64歳）は1995年をピークに、総人口も2008年をピークに減少に転じている。2030年の推計では、7,073万人の労働需要に対し、見込める労働供給は6,429万人であり、644万人もの人手不足となると予想されている。2019年1月1日時点の人口動態調査で、日本人は前年より43万3,239人少ない1億2,477万6,364人、外国人は16万9,543人増え過去最多の266万7,199人となり全体の2%を超える。

このような鑄造業に取り巻く課題が多い中においても、環境問題の対応として、GHGの排出を実質ゼロにするカーボンニュートラルの実現に向けて国の施策に対し、中小企業も対応を求められる可能性が強まっている。

鑄造業はその規模から見れば産業界の中では小さな産業であるが、その工程では大量のエネルギーを消費するエネルギー消費型産業ともいえる。多くの複雑

な工程を持つ鑄物工場においてその消費エネルギーの実態を捉えることは容易ではない。その各工程においては、様々な形態でのエネルギーが使われており、最も一般的なエネルギー形態は電気である。中でも溶解工程は鑄物工場の全消費エネルギーの60%以上を占めるといわれており、この工程においては電気炉のほかコークスをエネルギー源とするキュボラの採用も数多い。キュボラによる製造は、高炉と同様大量のCO₂が発生してしまう。鑄造業の冷風キュボラでは486kg-CO₂/ton、熱風キュボラでは362kg-CO₂/tonのCO₂発生量であり、電気（277kg-CO₂/ton）の1.2~1.7倍の発生量となる。他には必要となるエネルギーは、予熱・保持・強制冷却、工場空調・集塵、機器設備稼働、運搬、工場証明等であり、特に前半は鑄造業特有のエネルギーであり、消費量も多く最大の課題となっている。

私が会長を務める日本鑄造工学会は、鑄造に関する学問、技術の進歩・向上と、それに伴う鑄造業界の発展を目的として、ものづくり基盤産業の発展に寄与してまいりました。そのスローガンとして、【新しい風を吹かせ、その風に乗れ】を掲げている。これからは、更に利便性の高い次世代のサービスを会員に届けることで、90年以上続く学会として日本経済の持続的な成長と社会課題解決に対して、最大限の貢献を果たしていくこと目標として取り組んでまいります。今後とも基盤技術産業である素形材産業への皆様の応援と協力をお願い致します。

鑄造・ダイカスト編

**2023年夏
実装予定!**



The screenshot shows the EMIDAS website interface. At the top, there's a navigation bar with links like '会社案内' (Company Info), '採用情報' (Recruitment Info), 'サイトマップ' (Site Map), and 'ヘルプ' (Help). Below this is a search bar with the text '会社・技術を検索する' (Search for company/technology). The main content area is titled '製品を検索する' (Search for products). On the left, there's a sidebar with categories like '加工分類検索' (Processing Classification Search) and '設備検索' (Equipment Search). The main area displays search results for '生産財' (Production Goods), showing a list of products with their respective counts. The results are organized into a grid with product names and counts. The website also features a '新規会員登録' (New Member Registration) button and a 'ログイン' (Login) button.

変更	大分類名	中分類	小分類
統合	量産	鑄造	砂型鑄造
	量産	鑄造	低圧鑄造
廃止	量産	鑄造	圧力鑄造
	量産	鑄造	重力鑄造
	量産	鑄造	シェルモールド
	量産	鑄造	遠心鑄造
新規	量産	鑄造	消失模型鑄造(フルモールド鑄造)
新規	量産	鑄造	Vプロセス鑄造
	量産	鑄造	石膏鑄造
	量産	鑄造	ロストワックス
廃止			
	量産	鑄造	金属射出成形(MIM)
廃止			
	量産	鑄造	鑄鉄
	量産	鑄造	ダクタイル鑄鉄
	量産	鑄造	鋳鋼
	量産	鑄造	ステンレス
	量産	鑄造	アルミ合金
	量産	鑄造	アルミニウム青銅
	量産	鑄造	銅合金
	量産	鑄造	亜鉛合金
	量産	鑄造	マグネシウム合金
	量産	鑄造	500g以下
	量産	鑄造	500g～5kg
	量産	鑄造	5kg～100kg
新規	量産	鑄造	100kg～500kg
新規	量産	鑄造	500kg以上
	量産	ダイカスト	125t以下
	量産	ダイカスト	125t～250t
	量産	ダイカスト	250t～1000t
	量産	ダイカスト	1000t以上
	量産	ダイカスト	アルミ
	量産	ダイカスト	亜鉛
	量産	ダイカスト	マグネシウム合金

変更	大分類	中分類	小分類
-	鑄造	鑄造機	鑄造機
廃止			
変更	鑄造	鑄造機	重力鑄造機
新規	鑄造	鑄造機	遠心鑄造機
新規	鑄造	鑄造機	Vプロセス設備
新規	鑄造	鑄造機	鑄仕上げ機（自動バリ取り機）
変更	鑄造	造型設備	自動造型機
新規	鑄造	造型設備	シェルマシ
新規	鑄造	造型設備	砂混練機（ミキサー）
新規	鑄造	造型設備	砂処理・再生設備
新規	鑄造	溶解炉	電気炉
新規	鑄造	溶解炉	高周波誘導炉
新規	鑄造	溶解炉	低周波誘導炉
新規	鑄造	溶解炉	ガス溶解炉
新規	鑄造	溶解炉	アルミ溶解炉（電気炉）
新規	鑄造	溶解炉	アルミ溶解炉（燃焼炉）
-	鑄造	ダイカストマシン	ダイカストマシン
-	鑄造	ダイカストマシン	ダイカストマシン （コールドチャンバー）
-	鑄造	ダイカストマシン	ダイカストマシン （ホットチャンバー）

EMIDAS magazine 2023 Summer Vol 52 11

PVランキング

●エミダスランキング

このランキングは、エミダス会員の会社情報ページの2022年4月から2023年3月のアクセス数集計です。

順位	会員区分	会社情報名	エミダス都道府県	エミダスpv
1	プロ	友鉄工業株式会社	広島県	46,042
2	プロ	株式会社キャスト	広島県	28,671
3	プロ	株式会社ハズ (旧：幡豆工業 株式会社)	愛知県	21,976
4	ライト	光軽金属工業 株式会社	岡山県	12,333
5	プロ	岩機ダイカスト工業 株式会社	宮城県	9,754
6	プロ	株式会社ニューテック	長野県	9,111
7	プロ	吉田工業株式会社	長野県	8,455
8	プロ	株式会社サトキン	群馬県	8,437
9	プロ	株式会社木村鋳造所	静岡県	8,307
10	プロ	株式会社イナテック	愛知県	8,204
11	プロ	日本継手株式会社 (旧：JFE 継手株式会社)	大阪府	7,352
12	プロ	ネクス株式会社	熊本県	7,344
13	プロ	株式会社ナガエ	富山県	4,560
14	プロ	岩井産業株式会社	茨城県	4,013
15	ライト	辰巳工業株式会社	大阪府	3,718
16	ライト	オカダ合金 株式会社	石川県	3,333
17	プロ	昭和電気鋳鋼 株式会社	群馬県	2,902
18	プロ	株式会社トミナガ	高知県	2,098
19	ライト	株式会社 JMC	神奈川県	1,798
20	無料	株式会社宮木製作所	富山県	1,792

●ホームページエミダスランキング

このランキングは、エミダス会員の自社ホームページの2022年4月から2023年3月のアクセス数集計です。

順位	会員区分	会社情報名	エミダス都道府県	サイトPV
1	プロ	株式会社イナテック	愛知県	123,816
2	プロ	株式会社ナガエ	富山県	89,743
3	プロ	株式会社ハズ (旧：幡豆工業 株式会社)	愛知県	85,091
4	プロ	吉田工業株式会社	長野県	64,506
5	プロ	ネクス株式会社	熊本県	64,191
6	プロ	株式会社キャスト	広島県	61,410
7	ライト	光軽金属工業 株式会社	岡山県	42,453
8	プロ	株式会社トミナガ	高知県	40,175
9	プロ	友鉄工業株式会社	広島県	39,584
10	ライト	株式会社三光ダイカスト工業所	静岡県	38,747
11	プロ	株式会社秋葉ダイカスト工業所	群馬県	35,564
12	ライト	株式会社ニッコークリエート	栃木県	34,338
13	プロ	昭和電気鋳鋼 株式会社	群馬県	32,885
14	ライト	オカダ合金 株式会社	石川県	31,258
15	ライト	株式会社マルサン木型製作所	愛知県	30,480
16	ライト	辰巳工業株式会社	大阪府	25,887
17	ライト	光洋精機株式会社	宮城県	24,232
18	プロ	株式会社サトキン	群馬県	17,941
19	プロ	共和ダイカスト株式会社	埼玉県	17,900
20	ライト	株式会社アルファテック	愛知県	17,048

※エミダスのアクセス解析機能を利用している企業のみが対象です。
解析機能についてのお問い合わせは下記までご連絡ください。
03-6284-3080 (サポート対応時間 10:00～16:30)
emidas-info@nc-net.or.jp

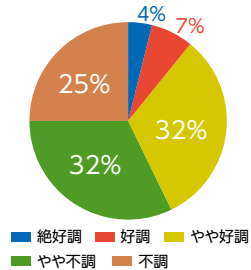


鑄造業・ダイカスト業向けアンケート

主 体：株式会社NCネットワーク
期 間：2023年6月15日～7月3日 WEBによる調査
対象者：エミダス会員企業で「鑄造業・ダイカスト業」を行う経営者
対 象：350社

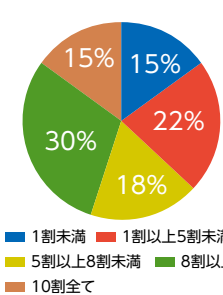
エミダスマガジン Vol.52 発刊に向け、鋳物加工・ダイカストを行うNCネットワーク会員（エミダス会員企業）約350社に景況感に関するアンケートを実施しました。特に、材料・エネルギーコストの高騰による、取引先に対する値段の転嫁について、業界や企業の温度差をひしひしと感じる結果となりました。実際は、自助努力で交渉を進めるものの、大企業と中小零細企業の利益率など格差は全く縮小せず、企業単体の努力では限界という実態も垣間見られました。アンケートへご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。

Q1 現在の工場全体の稼働状況



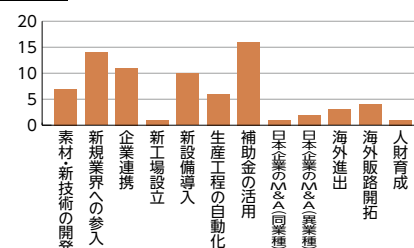
鋳物・ダイカスト業界全体としては、半数以上が「やや不調」「不調」と回答。不調業界として、自動車業界、半導体製造装置業界、生産設備業界に回答が集中しました。一方、好調な業界としても自動車業界がトップにあがりました。回答者の中では「EV関係」は好調、「エンジン試作」が不調という回答がありました。

Q2 材料・エネルギーコストの取引先への値段転嫁の状況



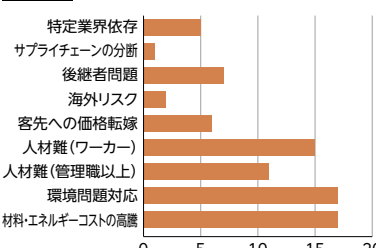
6割の企業において、取引先への価格転嫁の交渉が半数進む中、交渉が難航する企業が4割弱現在も存在します。依頼が進まない企業の理由として「価格転嫁を上げると根拠・エビデンス等の明確に資料を求められる」という声がありました。また、自力で交渉を進める企業から「政府からの明確な指針に則って進めるべき」と中小企業1社1社の力では限界があるという声もありました。業界や企業によって、対応のスピード感は異なり、ある一定の業界に対し「対応が遅い」という声と、「すんなり許容してくれた」という声がまちまちでした。

Q3 近年、企業で取り組んだこと ※複数回答



回答企業のうち、6割強が補助金の活用を行い、その内半数が新設備の導入を行いました。また、新たな取り組みとして、新規業界への参入や企業連携を行う企業が多くありました。海外への動向としては、インド含むアジアに対する取り組みが100%でした。

Q4 自社の経営課題となりうる要因 ※複数回答



今後、自社の経営課題になりうるリスクとして、「材料・エネルギーコストの高騰」、「環境問題対応」、「人材難(ワーカー)」に回答が集まりました。コスト上昇に対する懸念が多い中、生産に関わる人材不足も同様大きな経営課題とてあげられました。

迎90周年

産業のあらゆる先端技術・研究開発へ
さらなる飛躍を目指します

—— 鑄造工学

数千年に及ぶ鑄造の歴史を背景に、自動車、航空、宇宙、原子力、コンピュータ産業など幅広いジャンルを学問的・技術的に追究する総合学問が“鑄造工学”です。日本鑄造工学会は1932年に設立された鑄造に関する学術団体。鑄造工学に関わる学術及び技術の振興を図り、世界のものづくり基盤産業の発展に貢献します。

研究

新素材部品の鑄造、ニアネットシェーブ鑄造法の発展をもとに、自動車、航空、宇宙、原子力、コンピュータ産業にまで進出、拡大しています。

全国講演大会

年に2回、全国講演大会を開催し、毎回500名を超える参加者を迎えています。完全オンライン講演大会や会場講演とのハイブリッド大会も実現。参加しやすいイベントを企画します。

学会誌『鑄造工学』

自由に研究成果や技術情報を発信したり、鑄造技術にかかわる各種情報を共有化することができるコミュニティの場として学会誌『鑄造工学』を毎月発刊しています

産業界への貢献

個人会員のおよ8割は企業の所属。技術革新に繋がる学術及び技術の振興を図りながら、産業界からの要望に応えるべく、様々な活動を積極的に展開しています

入会のご案内

産・官・学が一体となり、活発に研究活動や技術の交流、普及を行っています。皆さんも日本鑄造工学会に入りませんか。
▶詳細はホームページへ <https://jfs.or.jp>



・お問い合わせ

公益社団法人日本鑄造工学会 事務局
東京都港区芝浦 4-15-33 芝浦清水ビル 2階

☎ : 03-6809-2303
FAX : 03-6809-2330
✉ : jfes@jfs.or.jp

YouTube 活動もしています！
人気 YouTuber とのコラボ動画を配信しています



新東工業株式会社

日本初の“砂型鑄造機”開発から、品質不良“ZERO”の追求まで



代表取締役社長
永井 淳氏

鑄造機メーカーとしての歩みと技術革新

新東工業株式会社の歴史は1927年、砂型造型機の完成から始まった。当時、豊田式織機株式会社において、豊田佐吉翁氏の影響を受けた久保田長太郎氏（のち二代目代表取締役社長）が、日本初の砂型造型機を完成させた。この出来事をきっかけに、同社は鑄造機メーカーとして歩み始めた。

1943年には、ジョルトスクイーズ小型造型機「F」型を完成させ、自動車部品の大量生産に貢献し、日本の鑄物産業の発展に寄与した。1970年代に入ると、鑄物製品に高付加価値を与えるための独創的な技術開発に取り組み始めた。1972年、真空を利用した鑄型作成の原理を応用し、世界初のVプロセス自動鑄造設備を開発。世界20か国に200を超えるVプロセスラインを納入してきた。こ



「サーボプレス（電気自動車用）」
電気自動車用電池業界に貢献

の設備は、中～大物鑄物を美しい鑄肌と高い寸法精度で生産することができ、粘結剤を一切含まない乾燥砂を使用するため、廃棄物や有毒ガスの発散が少なく、環境に優しい鑄物づくりを可能にした。さらに、静圧造型法やエアレーションといった革新的な技術開発により、世界の鑄物業界を牽引し続けている。

2010年代以降、同社は電動型ロールプレス技術を開発に成功。電動化によりワークへの圧力を均一化できたことで安定した品質を確保。また、油漏れを解消し、クリーンな作業環境の実現に貢献している。この技術は、燃料電池や部品内蔵基板などの貼り合わせや成形に活用され、自動車部品等の先端分野に進出を推し進める。

このように、産業に欠かせない設備装置の製造・販売を行う同社。現在、表面処理事業・鑄造事業・環境事業の3つの主要事業を展開し、国内に22社、海外に32



「集塵機」
創業時より当社環境技術を支える

既存事業から新事業への深耕



社の拠点を持っている。2023年3月期の全体売上高は、1,063億円であり、そのうち鑄造事業が全体の34%を占めている。

品質向上・環境保全に向けた次世代の鑄物工場

2010年代からは、『SINTO SMART FOUNDRY』として、“もっといい鑄物づくり”を目指した提案を行う。“品質”に着目した『Good Casting System』は、製品不良の要因を工程ごとに管理し、ばらつきを最小限に抑えるシステムだ。異常を検知する評価装置や製造履歴のトレーサビリティによる可視化などの手法を活用している。“自工程完結”の考えのもと品質は各工程で作り込み、品質不良“ZERO”を追求。また、ニアネットシェイプ化や薄肉軽量化により生産性向上に取り組む。その一方で、創業時より公害や環境問題への対応を進めてきた同社。工場

働く人々へ悪影響を及ぼすチリ・ホコリを除去する集塵機は、国内トップクラスの納入実績を持つ。

さらに、今年4月には環境目標を更新。グループ全体でCO₂排出量を年率3%削減し、創立100周年に向けてカーボンニュートラルの取り組みを加速させる考えだ。

「かつて鑄造工場は3Kの代名詞でしたが、このイメージを変えたいと思っています。私たちは、もっといい鑄物づくりを実現するために、IoT技術を活用した高付加価値の創出と鑄物不良ゼロにチャレンジしています。そして、働く人の安全・健康が守られ、環境にも優しい最先端の鑄造工場をご提案しています。従来のカン・コツ・経験に頼らず、データ分析を用いた自工程完結型のモノづくりに注力しています。これらの取り組みが、お客様に選ばれ続けることにつなが

ると確信しています。」と、社長の永井淳氏は語る。

技術やノウハウを生かし、既存事業以外の分野でも課題解決を目指す姿勢が、鑄物業界の発展と挑戦を支えている。



「インライン生砂性状自動計測」造型機が砂を選ぶ



「サーボシリンダ」カーボンニュートラルに対応

会社概要

- ◆会社名 新東工業株式会社 ◆TEL 052-582-9211 (代) (2023年3月期)
- ◆所在地 〒450-6424 愛知県名古屋市中村区名駅3丁目28番12号 ◆社員数 1,735名 (連結: 3,986名)
- ◆年間売上高 576億74百万円 (連結: 1,063億81百万円)
- ◆URL <https://www.sinto.co.jp/>



芝浦機械株式会社

芝浦機械株式会社
専務執行役員
成形機カンパニー長

小池 純 氏

新3SやIoT、SDGsで、 新時代の「もうかる」モノづくりを支援

ベテラン技術者の手仕事から 自動制御へ

ダイカスト部品が最も多用されるのは自動車業界（二輪・四輪）であり、全流通量の8割を占めるといわれる。これまでのダイカストマシンの進化は、自動車技術の発展の影響を大きく受けてきた。1953年、芝浦機械（当時・芝浦機械製作所）が国産初の油圧式ダイカストマシン「200C」を製作。東芝（当時・東京芝浦電気）名古屋製作所の扇風機用モータ製造向けに開発された、型締力200tの小型ダイカストマシンだった。

その後まもなく、高度経済成長期の到来とともに、一般市民の間で自家用車が普及していくさなか、自動車の生産量が爆発的に増加。それに伴い、自動車のエンジンやトランスミッションなど、大型で複雑な部品の生産に対応するため、中子付きの金型が増加、マシンサイズの大型化も求められた。同社は自動車メーカーの要求に応えるため、マシンの大型化と共に、射出性能向上の開発を行ってきた。射出性能が向上した結果、ダイカスト製品の内部品質に大きく影響する鑄造圧力の低圧化が可能となり、機械のダウンサイズが可能になった。またワンサイズ大きな金型が載る機械と高応答の射出装置、射出速度、圧力を制御するコント

ローラの開発で「小さな機械で、大きい部品を鑄造する」ことが可能となった。

ダイカスト工場が、市場の需要に対してスピーディーかつ効率よく生産していくためには、人の力だけを頼りにするのではなく、「かんぱん方式」などの生産手法や、ダイカストマシンの更なる高性能化が求められるようになった。そうした状況で、ダイカストマシンにおいてもコンピュータ制御が実装されるようになった。これらの流れから誕生したのが、1985年に芝浦機械（当時・東芝機械）が開発した、射出と型締を自動制御する「ショットエンドマスターユニット（SEMU）」と「ロードマスターユニット（LMU）」だった。その登場から、ベテラン技術者が一つひとつ手作業で調整しなければならなかった射出条件設定などが自動化されていった。

さらに1992年には、射出条件をより精密に制御できるトータル制御装置「TOSCAST」が登場。以来、TOSCASTは改良を重ねながら、今も市場のニーズに合わせて進化し続けている。

「3K」から「新3S」へ ——環境に優しいダイカストへ

ダイカストの工程は、自動車生産の全工程で排出されるCO₂の大半を占めるといわれてきた。そのうえ工場の中は、暑くて油

環境負荷低減型ダイカストマシンDC1100R-E（2020年）



環境負荷低減型ダイカストマシン
DC400R2-EM（2022年）



まみれの、まさに「3K（きつい、汚い、危険）」職場の代表格と揶揄されてしまうことも。こうした、ダイカスト工程・工場の「負のイメージ」から脱却しようと、芝浦機械では2004年ごろからダイカストマシンの電動化に取り組んできた。

ダイカストマシンの電動化で実用化できているのは、現時点では「型締」まで。射出については、短時間で瞬時に加速させるために必要なパワーが非常に大きく、加圧された作動油を瞬時に放出するアキュムレータを使った油圧を利用することが合理的である。「射出の電動化には性能的に限界があり、まだ研究段階で、市場に出すにあたっては多くの課題がある」と芝浦機械 専務執行役員で成形機カンパニー長の小池純氏は述べる。

「油の使用量削減や漏れ防止、省電力化など、マシントータルでの環境性能アップに取り組んでいます」

芝浦機械は、ダイカストの「3K」のイメージを払拭する、「新3S」という新コンセプトを掲げている。「Save Energy：消費電力の削減」「Save Time：サイクルタイムの短縮」「Save Maintenance：

メンテナンス性の向上」の頭文字だ。

2020年以降、環境対応への要求がますます高まる中、芝浦機械でも、「DC1100R-E / DC1300R-E」（2020年）、「DC400R2-EM」（2022年）といった電動型締機構を標準搭載した環境負荷低減型ダイカストマシンをリリース。また、新型コントローラ「TOSCAST999」は操作性向上による段取り時間短縮や、生産管理ソフトdPAQET（オプション）により、離れた事務所から複数台の監視ができ、保全性向上、電力消費量の可視化により生産効率向上に貢献する、新3Sを支援する機能を実装している。

これからの時代のダイカスト

これまで多くのエンジン関連部品がダイカストマシンで製造されてきたが、今はインバーターケースやバッテリーケースなど電気自動車（EV）固有の部品の製造にシフトしてきている。EVにおいて、軽量化は重要な課題の一つである。アルミダイカストで薄肉成形することで、金属部品の大幅な軽量化が可能だ。薄肉で

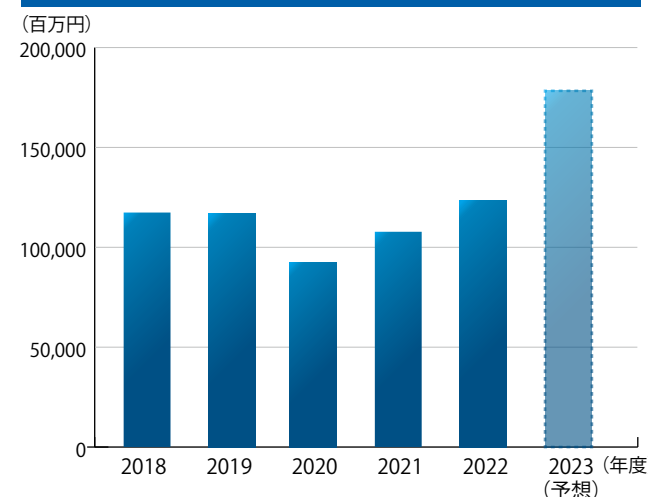
精密な成形を行うには、芝浦機械のダイカストマシンの高度な射出制御技術が大いに活躍する。

自動車と同様に、ダイカストマシンもIoT（モノのインターネット）で「つながる化」してきている。芝浦機械は、成形現場の情報を集中管理するリモート監視システム「dPAQET」を提供。成形機の稼働状況や成形品の品質などをリアルタイムに可視化し、分析を行う仕組みだ。「お客さまの多くが、人手不足や技術継承に悩んでいらっしゃいます。現場の業務負担を少しでも減らしていけるよう、良品条件の絞り込みの実装や、予知保全の機能も実装していく予定です」と、小池氏。

先ほどの「新3S」とともに、こうしたIoT化も若い働き手を業界へ呼ぶためのカギとなり、それが今後の業界活性にもつながってくる。

「お客さまが新しい時代の動きへ追従していけるよう、新3SやIoTで生産性を高めて、CO₂を削減し、ひいては『もうかる』モノづくりの実践ができるように、今後もお役に立っていきたく考えています」と、小池氏は抱負を語った。

●売上高推移（連結）



会社概要

- ◆会社名 芝浦機械株式会社
- ◆所在地 《東京本社》〒100-8503 東京都千代田区千代田 2-2-2 富国生命ビル
- ◆TEL: 03-3509-0200
- ◆FAX: 03-3509-0333
- ◆社員数 1,683名（連結 3,037名）
- ◆年間売上高 連結 1231億9千7百万円（2022年度）
- ◆URL <https://www.shibaura-machine.co.jp>



東洋機械金属株式会社

『お客さまの価値向上』を目指して 日本から世界へ、



代表取締役社長
田畑 禎章 氏

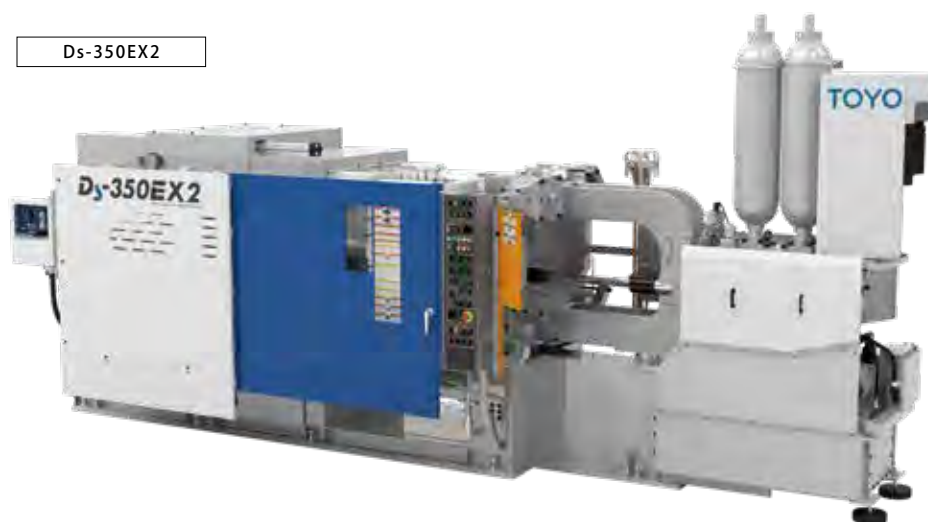
「創業以来、『お客さまを大切に、お客さまとともに発展したい』という想いを胸に、我々のものづくりは成り立っています。」東洋機械金属株式会社の代表取締役社長、田畑禎章氏は語る。「当社が掲げる『Customers' Value Up（お客さまの価値向上をめざす）』という言葉には、お客様の要望に合わせたカスタマイズやタイミングで機械を提供し、そしてTOYOの“すべてのお客様達”の価値向上を目指す、という意味を込めています」

東洋機械金属株式会社は、1925年に紡績機械メーカーとして創業。1950年代以降、射出成型機やダイカストマシンの生産を開始し、主力事業として取り組む。2023年3月期売上高は、352億円に

上る。ダイカストマシンの売上高は73億円で、うち海外売上高比率が約70%である。特に、弊社主力機種であるダイカストマシン『BD-EX Series 1000トン』を含め、日本製ダイカストマシンとして世界的な台数シェア率は約60%に達する。利用国は主に中国、韓国、タイ、ベトナム、インドネシア、マレーシア、メキシコなど広く普及している。

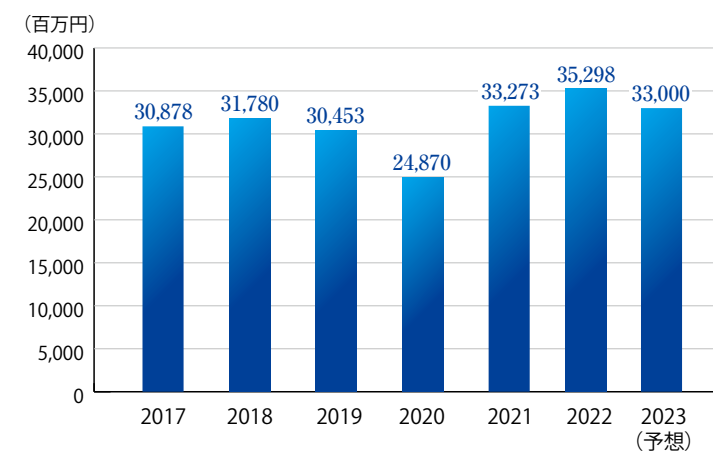
近年、ダイカスト業界では市場に変化が訪れている。電気自動車（EV）の需要増加により、エンジンやミッションケースなど内燃機関部品の需要が減少。代わりにモーターやバッテリーケースなどの需要が増加している。

この変化に合わせて成長してきたのが、電動サーボシステムを搭載した

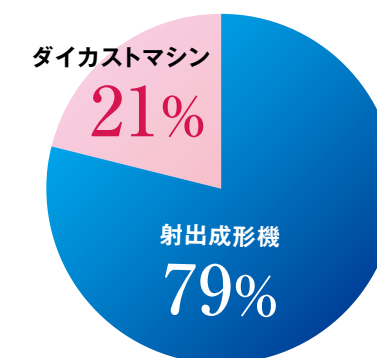


Ds-350EX2

●売上高推移（連結）



●2022年度 製品構成比



環境対応型ダイカストマシン『Ds-EX Series』だ。加速度を応用した独自の新機構の開発によって、油圧式ダイカストマシンを一部電動化。従来の設備よりも小型のダイカストマシンによる生産（ダウンサイジング）が可能となり、他社ダイカストマシンと比べて高いコストメリットを出すことができる。

また、当社が重要視するのは、お客様の要望に基づいたカスタマイズだ。このサービスを充実させる要因の一つが、内

製率の高さにある。当社では、機械制御基板から実装までを一貫して自社内で生産することで、運用後のメンテナンスや鋳造トラブルの原因解明、改善提案を迅速かつ柔軟に行うことができる。また、国内外にエンジニアを配置することで、地域を問わない適格なサポート体制を構築した。他にもエンドユーザーに向けたセミナーや講演等を開催する。

今後に向けて、顧客ニーズに応えながら大型ダイカストマシンの製作を進める

方針だ。特にEV化や軽量化に向けた自動車関連の需要にあわせて、機械の増産やエンジニアリング力を上げる事が課題となっている。田畑社長は「お客さまと共に発展し続けるため、常にお客さまの要望に耳を傾け、技術の向上と製品の開発に取り組んでいく」と述べ、前向きな姿勢を示した。東洋機械金属株式会社は、これからも顧客ニーズに合わせた革新的な製品の提供を通じ、ダイカスト業界での存在感を高めていく。

BD-EX Series 1000トン



会社概要

- | | | | | | |
|------|--------------------------------|------|-------------------|--------|--------------------------|
| ◆会社名 | 東洋機械金属株式会社 | ◆TEL | 078-942-2345 (代表) | ◆社員数 | 753名(2023年3月) |
| ◆所在地 | 〒674-0091
兵庫県明石市二見町福里 523-1 | ◆FAX | 078-943-7275 | ◆年間売上高 | 352億9千8百万円
(2023年3月期) |
| ◆URL | http://www.toyo-mm.co.jp/ | | | | |



鑄造 & ダイカスト

会員企業 分布MAP

鑄造・ダイカストを中心とするNCネットワーク会員企業のうち、14社にヒアリングを行った。いずれも自社の特徴や強みを追及する、まさにNCネットワークの応援する「挑戦製造業」である。

社員数

- ~30名
- ◇ 31~100名
- 101~300名
- ★ 301名~

関西

滋賀県	9社
京都府	11社
大阪府	28社
兵庫県	13社
奈良県	4社
和歌山県	1社

中国

鳥取県	1社
岡山県	8社
広島県	14社

九州

福岡県	6社
長崎県	2社
熊本県	2社
大分県	1社

四国

愛媛県	3社
高知県	2社

北海道

北海道 3社

東北

岩手県	5社
宮城県	3社
秋田県	1社
山形県	5社
福島県	6社

関東

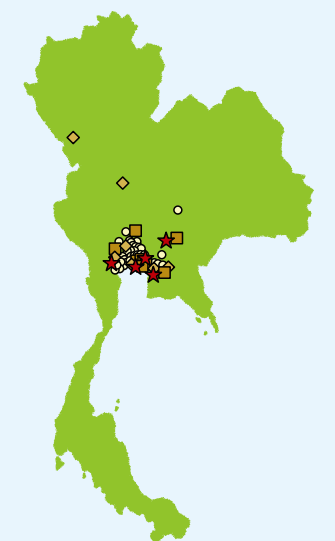
茨城県	13社
栃木県	7社
群馬県	15社
埼玉県	38社
千葉県	5社
東京都	20社
神奈川県	7社

中部・甲信越

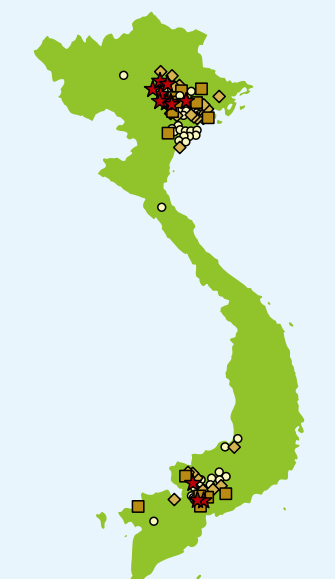
新潟県	14社
富山県	11社
石川県	6社
山梨県	4社
長野県	12社
岐阜県	10社
静岡県	15社
愛知県	27社
三重県	6社

WORLD

タイ



ベトナム



主工法 フルモールド鑄造 主材質 鑄鉄

エミダス会員番号：89522

株式会社木村鑄造所



鑄物づくりから、かたちづくりへ！

KIMURAグループは、静岡県東部の清水町に本社、伊豆の国市に先端プロセス技術センター、御前崎市と群馬県太田市に鑄造の主力工場、米国インディアナ州に工場を構える。創業の1927年から鑄物道を一直線に突っ走ってきた。現社長の木村寿利氏は、リーマンショック後の2011年に4代目を引き継いだ。先代の木村博彦氏が、フルモールド鑄造法を確立、3Dデータを利用した鑄物業界最先端のDX化を確立した後、現社長は継承し、さらに発展を続けている。

「鑄物づくりだけにこだわらず、鑄物をつくる際に培ってきた技術でかたちをつくる、というところにこだわって今後は発展を続けていきます」と木村社長は語る。

木村社長は、リーマンショック後、顧客の創造で開拓を行った。従来のユーザーであった自動車業界を中心としたプレス金型や工作機械から、インフラ、産業用機械など多方面の開拓を行った。「日本では鑄物の総生産量が減りました。そこで、我々は、鑄物を製造する過程の技術に注目して、ビジネスを立ち上

げています」と木村社長。

その一環としてフルモールド鑄造法で使用する模型製作技術を利用し「キムラデザインワークス」としてビジネスを立ち上げた。販売先は、演劇、映画、アニメ、ゲームなどが中心だ。企業PR、販促物など、最大12mの発泡スチロール製作技術を活かして、短納期で造形物の提供を行う。そこから最終製品であるWeb会議用スペース「Webroom」など今後の発展が多いに期待される。

本業である鑄物分野でも、技術開発に余念がない。これまで鑄物産業で、常に最先端を走ってきた木村鑄造所。近年では、「低圧砂型鑄造によるアルミ構造部品」をドイツ Grunewald社と提携し、製品販売を開始した。1～100個程度の複雑形状品に適しており、EV車（商用車、高級車）などへの転用が始まっている。

また米国工場も昨年操業4年目にし、黒字化を達成した。本業を見据えながら、新技術、新商品、新顧客開拓に余念がない木村鑄造所の今後の発展に注目したい。



今後展開を予定しているアルミ構造体部品の一例



代表取締役 木村 寿利氏



Web会議用スペース「Webroom」

◆会社名 株式会社木村鑄造所
◆所在地 〒411-0905 静岡県駿東郡清水町長沢 1157
◆TEL 055-975-7051
◆FAX 055-975-9904

◆URL <https://kimuragr.co.jp/>



得意技術	フルモールド鑄造、3D プリンタによる砂型積層
主要材質	鑄鉄、鑄鋼、ステンレスなど
製品分野	大型プレス金型用鑄物、工作機械用鑄物など（月産最大 6,000t）
海外拠点	アメリカ工場

主工法 鑄造 主材質 鑄鉄、アルミ合金

株式会社コヤマ

柔軟なものづくりと持続可能な鑄造産業のリーディングカンパニー

長野県長野市に本社を構える株式会社コヤマは、初代社長である小山三蔵氏が昭和20年に創業し、昭和21年に小山鑄造有限会社を設立した。敗戦後の混乱の中で、当時の軍用機用資材であったアルミやジュラルミンを用いて鑄物の製造を開始。現在は、鑄鉄とアルミ鑄造を中心に、中子を用いた複雑形状品の製造を得意とし、どこの系列にも属していない独立系鑄造メーカーとして知られている。

同社のものづくりの特徴は、開発から試作品製作、鑄造、バリ取り、熱処理、機械加工までの一貫生産を自社内で行っていること。開発工程では、客先と協同し、製品設計段階から参画するなど、顧客ニーズへの柔軟な対応が評価されている。

コロナ禍で落ち込んだ売上高は、大物部品需要の高まりによって、5年ぶりに200億円を超え、過去最高を更新する見込みだ。事業別の内訳は、鑄鉄が5割、アルミが2割、機械加工が2割、省力化機械が1割となっている。また、省力化機械を除いた業種別の内訳は、建設機械・油圧機器部品が5割、自動車部品が4割、産業・農業用機械部品が1割となる。

昭和47年には、社内労働改善のため、バリ取り作業の省力化を目指した機械を開発。改良を繰り返し、『省力化機械バリンダー』として商品化した。世界36か国で3,800台以上販売され、国内外で広く利用されている。

また、近年注目されているカーボンニュートラルへの取り組みにも積極的だ。キュボラを稼働させるために必要なコークスを、『木質ブリケット』に一部代替している。使用する木質ブリケットは、近隣で廃棄される菌床や製材くずを有償で買い取り、自社内で粉碎・乾燥し、専用のブリケットマシンで圧縮加工している。他にも、鑄鉄の主資材となる銑鉄の使用比率を極限まで抑え、戻しくず、切粉、スクラップの使用比率を高めるなど、環境への負荷を軽減する取り組みも行っている。

今後に向けて、6代目社長の百瀬真二郎代表取締役は、「引き続き、最新設備の導入や新しい取り組みを進めてまいります。鑄造は、持続可能性の魅力に溢れた産業です。歴史に縛られず、世の中の需要を捉えながら、新しいチャレンジをしていきたい」と語る。



手前：代表取締役社長 百瀬 真二郎氏 奥：取締役須坂工場長 宮坂 誠氏

油圧バルブ①製品



油圧バルブ①中子



油圧バルブ②製品



◆会社名 株式会社コヤマ ◆社員数 637人
◆所在地 （本社・川中島工場）〒381-2224 長野市川中島町原 1111
◆TEL（本社）026-292-2700（代） ◆FAX（本社）026-292-2252
（須坂工場）〒382-0011 須坂市大字日滝字虫送 3500-1
◆TEL 026-215-2800 ◆FAX 026-215-2801

◆URL <https://www.koyama-nagano.co.jp/>



得意技術	鑄鉄砂型鑄造、アルミ金型重力鑄造、機械加工、「バリンダー」製造販売
主要材質	鑄鉄、アルミ合金
製造設備	電気炉 9基（5t, 4t, 3t, 2t） キュボラ 15 t/h × 2基 鑄造ライン 5
製造能力	鑄鉄 5,000t/月 アルミ 400t/月
製品分野	自動車用エンジン、ミッション部品 建設機械・農業機械用油圧部品 など
海外拠点	タイ工場

主工法 フルモールド鑄造 主材質 鑄鉄

エミダス会員番号：60394

友鉄工業株式会社



フルモールド鑄造で世界を拓く！

友鉄工業株式会社は広島市安佐北区にある鑄鉄メーカーだ。1959年に創業し、今年6月より65期となるが、鑄物屋としては新しい方だ。創業当初は鍋・釜・風呂釜を生産していた。現在は最大月産能力900tで、自動車向け金型用鑄物をメインに、マンホール鉄蓋の量産、景観鑄物の生産をしており、メインプロセスは単品のフルモールド鑄造だ。友鉄工業は1971年より、いち早くフルモールド鑄造に取り組みはじめた。

近年、木型の保管がいらないフルモールド鑄造が注目を浴びている。x4500y2500z1000まで対応でき、産業機械・工作機械の大型部品も友鉄工業のフルモールド鑄造の得意とするところである。沖縄県座間味港にある鑄鉄製の鯨のモニュメントは海面から頭を出している部分だけで8mもある。制作したのは友鉄工業だ。大型のフルモールド鑄造のほかに、マンホール鉄蓋分野でもブランドを持っている。通常のマンホール鉄蓋のほかに、色鮮やかにデザインされたカラーデザインマンホールは、地域の魅力を発信するのに役立っている。

友鉄工業のビジョンは毎日笑顔で過

せる「思いやりいっぱいカンパニー」である。近年の製造業界は語るまでもなく人材不足だ。各社様々な対策を練っているが、友鉄工業の答えは社内風土の醸成であった。10年ほど前に社員全員でどんな会社にしていきたいかを話し合った。風通しのよく心地よい会社にするために、社員が人として成長できるように、多くの時間をかけて考えた先に残った言葉は「思いやりを大事にした」だった。

同社は社員に対して様々な取り組みを促進している。コミュニケーションの場を作るため、社員同士の飲み会には年間の上限回数なしで一人につき3,000円の補助を出しているほか、社員が外部で研修を受けたいとなればかかる費用は全額補助している。そして今、友鉄工業のビジョンに共感し、「思いやり」をもってチームで働く人を求めている。

また、積極的に地域・社会貢献活動へも取り組んでいる。得意とする景観鑄造ではまちづくりへの参画、治水や海の分野では「鑄田籠」「鑄海衛」を通じて鉄イオンや鉄分を供給し、世界的な環境問題への対策を打ち出している。今後は、

産業・工作機械用の鑄鉄部品業界にフルモールド鑄造の利点を広めることに注力する。100%リサイクルできる鑄鉄の特性と、フルモールド鑄造の技術を活かし、「思いやり」で未来を創っていく。



鑄田籠



思いやりいっぱいカンパニー！



鑄海衛

◆会社名 友鉄工業株式会社
◆所在地 〒731-1142 広島県広島市安佐北区安佐町飯室 6151-1
◆TEL 082-837-0490
◆FAX 082-837-0481

◆URL <http://www.tomotetu.co.jp/>

◆社員数 95人
◆年間売上高 29億円



得意技術	砂型鑄造（フルモールド鑄造）
主要材質	鑄鉄
製造能力	電気炉：4台（5t）
製品分野	大型プレス金型用鑄物、マンホール鉄蓋など

主工法 砂型鑄造 主材質 非鉄

エミダス会員番号：47507

株式会社サトキン



0から1のものづくり

株式会社サトキンは、昭和21年に創業し、現在4代目となる大塚康幸社長が率いる。群馬県高崎市でアルミ合金・銅合金の砂型鑄造を試作から量産まで行い、熱処理、加工、塗装と一貫生産できる企業だ。鑄造は手先の技術と想像力が必要な世界だ。手始めひとつとっても、指先の感覚や段取りがとても重要である。サトキンは職人を置かず、誰もがどの作業もこなせるよう、定期的に部署ローテーションを行っている。「前後の工程を経験することによって、お互いに自分の作業品質が後工程に影響を及ぼすことに気付けば、自分の部署に戻った後、次工程を意識して一つひとつの作業が変わってくる」と大塚社長は言う。

昨年、社員の基本給を10%以上ベアアップした。これは人材確保と新規採用者のことを考えた決断であった。また、人材採用では、十数年前から積極的に海外からの技能実習生を受け入れ、今では30名中10名の実習生と特定技能者を有し、日本人社員とも同格で、全員がコミュニケーションを図り、気持ちよく働けるように共存共栄を社是としている。サトキンのポリシー“IDA (Imagine,

Decide and Act)”は、想像（考えて、決断（意思決定）そして行動（実施）することである。「踏み留まることなく、失敗してもいいから行動する。考えているだけでは何も始まらない。伝わらない。人の生きる道は、多くのことを経験し、学び得て、個の想像力を高めていくこと。それが世の中への貢献である」と大塚社長は力説する。

サトキンは、過去に倒産も経験した。その後も、何度かの経営危機があったが、その度に経営を見直し、経費の削減、仕損費の削減、生産の効率化、お客様のニーズとは何かを見直し、立て直しをしてきた。不具合品への対策は社長自ら現場へ足を運び、誠心誠意取り組むことでお客様との信頼関係を構築するよう努めた。そして、より信頼を得るために同業他社はやらないことへの挑戦を心がけ、展示会やWEBを通じての顧客開拓にも余念がない。

日本製造業は、各社のノウハウと経験の蓄積が最大の強みである。後継者不足の中どう引き継いでいくのか、自社のノウハウで何を創りだせるのか、考えなければならない。「日本でものづくりを続

けていく必要があります。鑄造の現場でも3D造型、プリンターが発達して、マンパワーによる鑄造現場はいずれ減っていくと想像できます。目の前のことをこなしながらお客様のニーズに応えることが、生き残ることに繋がっていくと思います」と、鑄物の技術を引き継ぐ姿勢を貫いていく。



工場内



実習生の様子

◆会社名 株式会社サトキン
◆所在地 〒370-2124 群馬県高崎市吉井町塩 309-8
◆TEL 027-320-3655
◆FAX 027-320-3656

◆URL <https://www.satokin.co.jp/>

◆社員数 30人
◆年間売上高 6.5億円



得意技術	砂型鑄造、パイプ鑄包み
主要材質	アルミ合金、銅合金
製造能力	電気炉：7台（200kg～750kg）
製品分野	自動車試作部品、船舶部品など大型鑄物（1,500kg）

主工法 砂型鑄造 主材質 鑄鉄

エミダス会員番号：92768

株式会社ハズ



ダクタイル異形管

世のため人のため、インフラへの想い

愛知県西尾市に本社を構える株式会社ハズは1922年（大正11年）に創業、今年で101周年を迎える伝統ある鑄造工場である。数多くの実績を積み上げてきたなかで、大きな強みは開発・設計、鑄造、機械加工、溶射、塗装、品質検査まで全て一貫生産が可能であり、多品種少量生産・大量生産の両方に対応することにある。主な製品は上下水道やバルブ、マンホールなど水回りの鑄造物で、特に公共インフラ製品へ貢献してきた。また、ダクタイル鑄鉄を使用した上下水道用鑄鉄異形管「ダクタイル異形管」の生産量は日本一を誇る。

製造ラインは大きく2つ。「自硬性ライン」と「生型ライン」があり、製造製品の大きさによって分けられている。「自硬性ライン」は内径300mm以上の製品製造に使用され、大きく少ロットな製造に向いている。砂に樹脂と硬化剤を入れ時間をかけ確実な製品を製造する時に使用する。「生型ライン」は内径75mm～300mmの製品製造に使用され、小さく大量の製造に向いている。このラインでは2分単位での製品製造が可能だ。

同社の製造するインフラ製品は高い強

度が求められるため、ダクタイル鑄鉄を採用している。ダクタイル鑄鉄とは鉄にカーボンを入れたもので、鉄より融点が下がった化合物である。鉄の鑄造性をより良くすることができ、組織中の黒鉛を球状の形にすることで強度や延性を改良し、より強度が強く、強靱性に富み、衝撃に強い耐久性のある鑄造物を製造することが可能。また、事前に使う鉄素材が自社に合うかを念入りに検査し使用している点からも品質管理に力を入れていることが伺える。

しかし近年は、街をリニューアルする場合でも新しい水道管に入れ替える必要がなくなり、水道管の需要低下やそれに伴う単価の下落が著しい。また、新たにポリエチレンの管が登場するなど、更にダクタイル異形管の需要が減ってきている。「インフラ製品であることと、ダクタイル異形管の唯一無二の頑丈さを踏まえ、我々の管の需要が尽きることはない」と犬塚宣明社長は言う。

今後は製造効率の向上とさらなる品質向上を図るため、工場の自動化を増やすほか、現在のメイン製品である上下水道管やマンホール以外のインフラ製品の製造を視野に計画を進めている。同社の社

是にある「モノを作るなら個人に対してではなく、世のため社会のために鑄造で貢献する」をモットーに、今後もインフラ製品を製造していく。



鑄造



亜鉛合金・溶射



代表取締役社長 犬塚 宣明氏

得意技術	素材からの一貫生産
主要材質	鑄鉄
製造能力	電気炉：3台（3t）
製品分野	水道用鑄鉄異形管、バルブ、鉄ふた

- ◆会社名 株式会社ハズ ◆社員数 173人
- ◆所在地 〒444-0396 愛知県西尾市寺津町五十間南1番地2
- ◆TEL 0563-59-6660
- ◆FAX 0563-59-5118
- ◆URL <https://www.has-jp.com/>



主工法 砂型鑄造 主材質 鑄鉄

エミダス会員番号：66424

株式会社トミナガ



鑄造マイスター・鑄造テヒニカの資格者 梅原利一専務

品質・技術・人を伸ばす 企業戦略

株式会社トミナガは、高知県にある鉄鉄鑄造メーカーである。島田誠社長は3代目として、先人が積み上げてきた鑄造技術を受け継いでいる。創業当時、職人気質な初代はドラム缶で鉄を溶かしていたという。時代が変わり、キューボラから現在の電気炉溶解と移り変わった。そののちに機械加工工場を隣接させ、一貫生産できる体制をつくってきた。島田社長が入社した当時はバブル崩壊、そして阪神淡路大震災で取引先が被災したことにより、経営は厳しい状況であった。また、いざなぎ景気により一時的に海外からの調達を主とする企業が増え鑄物屋も減少。それらの危機も、需要を読むことで成長し、乗り切ってきた。

2013年に取締役社長に就任後、島田社長は経営理念と事業戦略をつくった。従来の下請け事業からの脱却を目指し、経営計画の策定に取り組んだのだ。そして「品質第一」と掲げた言葉のもと、更なる設備環境の強化を図っていく。材料試験室を設け不具合品の原因の特定・対策がとれるようになったことにより、鑄物の精度が左右される材料の検査を社内

で行い信頼を得る体制を整えた。2016年導入の3Dスキャナは赤外線を製品に当てて寸法を測り、プログラムとの誤差を測定し、保証された製品を生み出している。機械加工にも力を入れ、マシニング加工の最大サイズは3700×2000×600、旋盤加工の最大径はφ2000と、大物の加工も可能である。2022年にはモデル加工部を立ち上げ、型を製作するノウハウも持ち合わせる体制をつくった。鑄造にとって型は何より大事だ。型屋が減少する中で一貫生産強化のため一部自社でも対応できるようにした。

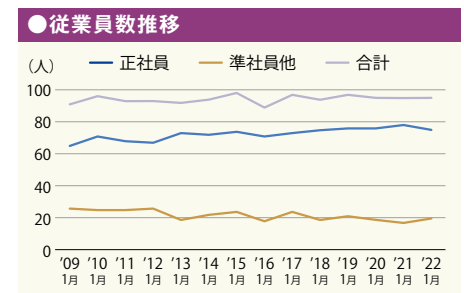
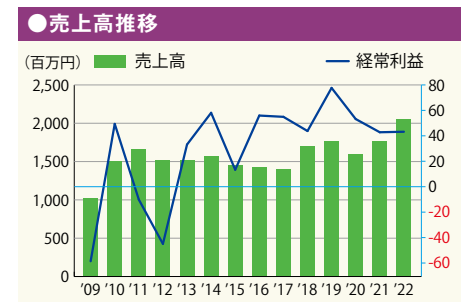
さらにトミナガには、国内唯一の鑄造マイスター・鑄造テヒニカの両資格者である梅原利一氏が専務を務めている。4年半ドイツで学び、鑄造技術の基盤を支えながら人員育成にも尽力し次世代につなげている。現場では梅原専務が中心となり技術と共に製品精度を見える化し、トミナガの強みを伸ばしている。

「製造業は人が大事」と述べる島田社長。男性育休や介護看護の有給休暇など、福利厚生の実施にも力を入れている。結果、島田社長の策定以降、社員数

は年々増加している。厳しい世界だが、職人技術の見える化、環境整備や人員育成の成果により、躍進していく。



一貫生産した製品



得意技術	砂型鑄造
主要材質	鑄鉄
製造能力	電気炉：2台（各1.5t）
製品分野	産業機械、船舶用機械部品など（主な製品重量 30kg～1.5t）

- ◆会社名 株式会社トミナガ ◆社員数 99人
- ◆所在地 〒781-5101 高知県高知市布師田3981-5 ◆年間売上高 20億円
- ◆TEL 088-845-1122
- ◆FAX 088-845-0800
- ◆URL <https://ftm-tominaga.co.jp/>



主工法 砂型鑄造 主材質 鑄鋼

エミダス会員番号：89430

昭和電氣鑄鋼株式会社 



働く皆さんの様子

鑄鋼業界のトップリーダーを目指せ！

昭和電氣鑄鋼株式会社は、群馬県高崎市に本社を構える北関東で唯一の鑄鋼メーカーだ。生産量は鑄鋼メーカーとして日本でトップ5となる。建機、鉄道、造船、工作機械など多方面の業界に製品を提供しており、解体重機部品で日本シェアトップを誇る。

鑄鋼の特徴は粘り強さにある。鉄は衝撃に弱いが鋼は伸びて衝撃に強い。鑄鋼を製造する溶解炉は、アーク炉（Max5t）と高周波誘導炉（3t）の2機があり、5kgから4000kgまで、一ヵ月約380t、7000個の製品を製造している。

昭和電氣鑄鋼を率いるのは手塚加津子社長。創業家であることから、突然、鑄鋼メーカーを継ぐこととなった。2010年にはISO9001、2011年には、ISO14000を取得。また、主たる顧客であった建機メーカーの売上を徐々に減らし、依存率を20％台にしてより安定的な受注構成に整えた。昭和電氣鑄鋼は日本一の鑄鋼メーカーを目指している。日本一とは生産量のことでない。日本一とは「やっぱり昭和に頼みたい」と言われる会社になることだと手塚社長は語

る。鑄鋼は加工が難しく、特に仕上げは絶対に自動化できない。質の高い製品を安定して生産し続ける土台には人がある。手塚社長は社員と密にコミュニケーションを取っている。鼓舞する言葉を投げかけ、課題や目標、将来の会社像を語り企業風土を醸成してきた。凡事徹底・基本回歸を合言葉に、社員一人一人が誇りをもって仕事に取り組み成長し続けられる会社になることをめざして地道な活動を今も続けている。

将来を見据えて、5Sと同時に無駄をなくして工場見える化を続けてきた。工場にクラウド端末を導入し、紙で行っていた生産進捗の状況をリアルタイムに把握する。これにより、より精度の高い納期回答ができるようになり、現場のリアルな情報を事務所で把握できるようになった。アナログな鑄物工場にクラウドによるデジタル化を推進し、適切な管理運用によって最適なDX化を実現したといえるだろう。

鑄鋼の主な原材料はスクラップだ。一度使った鐵資材はめぐりめぐって工場に帰ってくる。鑄造は資源をリサイクルできる最強の製造業である。鑄鋼ならではの

ものづくりで、業界のトップリーダーとして、今後も成長していく。



工場内クラウド端末の様子



製作例（鉄道部品）



工場内作業風景

◆会社名 昭和電氣鑄鋼株式会社
◆所在地 〒370-1201 群馬県高崎市倉賀野町 3250 番地
◆TEL 027-346-1725
◆FAX 027-347-3968

◆URL <https://www.showadenki-chuko.co.jp/>



◆社員数 94人
◆年間売上高 27.8 億円

得意技術	砂型鑄造
主要材質	鑄鉄、鑄鋼、ステンレスなど
製造能力	電氣炉：2 基（5t・3t）
製品分野	建設機械部品、鉄道車両部品など（月産最大 450t）

主工法 砂型鑄造 主材質 鑄鉄

エミダス会員番号：93458

日本継手株式会社 



歯車

特殊鑄鉄の開発、新しい領域への挑戦

1935年に創業し、大阪府岸和田市に本社工場を構える日本継手株式会社は、継手を専門に作る鑄造工場である。創業以来、水・ガスをはじめとする各種配管用継手の製造開発に取り組み、産業や暮らしの発展に貢献してきた。継手の品質とクオリティは世界最高水準であり、特にガス配管の継手に関しては危険性が高いため、多品種を品揃えしている主要メーカーは2社と少ない。その内の1社が当社であり、この信頼がブランドであり強みである。

さらに同社の強みの技術には、鑄放し高強度球状黒鉛鑄鉄（H-FCD®）がある。通常、FCD800以上へ強度を上げるには熱処理をするのが一般的であるが、熱処理を施すと歪みの発生や加工性が悪くなるといったデメリットがある。これに対しH-FCD®はある合金を添加することで一般的には熱処理が必要とされるFCD800～900相当の高強度鑄鉄を熱処理レスで安定量産することが可能だ。このH-FCD®は商標登録されており、一般的な熱処理品と比較し加工コストの抑制、リードタイムの短縮、トータルコストダウンに繋がる。量産実績として、

HONDAのNSX向けシフトフォークに採用された。今後はこのH-FCD®を使用した製品で減速機や鉄道、自動車、産業機械部品分野への参入を目指している。そのほか、砂型3Dプリンタの活用により、簡易的な鑄型や中子を製作することで試作の短納期化を実現。セメント系の材料を用いることで熱に強く、0 勾配で製作することが可能だ。

今後、自動車のEV化に伴い、使用される部品には強度アップと軽量化の双方が求められると日本継手は想定している。H-FCD®を用いて高強度・高耐摩耗性を兼ね揃えた、軽量かつ静穏性の高い部品を製造しEV車への採用も模索していく。それに伴い、現存の鑄造ラインを時代の変化に合わせてどう活用し変化させていくかが課題となる。現在の主力である継手＝マリアブル（可鍛鑄鉄）と一般的なダクタイル（球状黒鉛鑄鉄）に加え、H-FCD®の販売拡大により競合他社との差別化を図る姿勢だ。

「継手は、日本の市場で育った世界に通用する部品です」と社長の木島氏。日本の継手市場は大きく拡大する可能性は低い、長年培ってきた鑄造技術を活用

して、他の業界や海外展開を狙った新たな材質の試作や研究を行っている。従来には無い鑄鉄の試作、研究により後工程の省力化によるコストダウン、軽量化、耐久性向上への対応など様々なチャレンジを進めていく。



溶解工場



代表取締役社長 木島 博正 氏

◆会社名 日本継手株式会社
◆所在地 〒596-0805 大阪府岸和田市田治米町 153 番地の 1
◆TEL 072-445-0285
◆FAX 072-445-0291

◆URL <https://www.nippon-pf.co.jp/>



得意技術	砂型鑄造
主要材質	鑄鉄（※鑄放しにて FCD800・FCD900 対応）
製造能力	電氣炉：4 台（6t）
製品分野	配管用継手、建築、産業機械、自動車部品など

主工法 グラビティ鋳造 主材質 非鉄

エミダス会員番号：89431

吉田工業株式会社



中央：代表取締役社長 吉田 寧裕氏

未来に駆けるWell-being Company

吉田工業株式会社は長野県佐久市にあるアルミ鋳造・精密切削加工メーカーだ。アルミ鋳造は主に長土呂にある佐久平プラントにて行われ、自動二輪・自動四輪の重要保安部品や建設機械の油圧パーツなど、20kg以下の製品を得意とし、多品種少量で難易度の高い鋳造を手掛けている。1965年、ホンダ系プレーキパーツの切削加工を主力事業に創業、加工していたパーツの素材が鋳造で作られていたところに目をつけて、1970年に鋳造ラインを立ち上げた。吉田工業は鋳造から加工まで一貫して行えるという付加価値に早くから目をつけていたのだ。

吉田工業のアルミ鋳造の特徴は3Dプリンターを用いた砂型積層造形型の製作とシェル中子の活用だ。従来の方法では木型を転写して型を作るという3プロセスが必要だが、3Dプリンターの活用で大幅な工程集約を実現している。さらにシェル中子を用いることで、切削加工では困難な複雑形状の流路を成形することができるため、バルブやピストンなどの中空形状製品に対応できる技術が同社の強みとなっている。また、吉田工業の高い技術力を下支えしているのがTPM活動（Total Productive Maintenance）だ。全員参加の生産保全、作業改善、設

備改善を継続的に実施することで、全社員の技術力の底上げと、チームワークの形成につながっている。その結果ちょこ停や、設備の故障、事故の未然防止につながり、生産性、品質の向上に寄与している。

高い技術力のベースにあるのは「社員の幸せ第一」という経営方針だ。吉田寧裕社長が掲げる「挑戦するWell-being Company」を、社員一人ひとりが理解し行動してきた。アルミ鋳造と精密切削加工のコア技術という基盤があるからこそ社員の幸せを大切にできる。その結果モチベーションの向上や社員の成長、さらなる生産性の向上へつながるサイクルが回り始めた。また、社員が話し合う場としてYMI（Yoshida-Monozukuri-Innovation）がある。部署ごとに週一回、改善活動の話し合いを行い、横の連携を高め自由に意見が言いやすい環境を作っている。自由に発言ができる風土と、吉田工業の常にチャレンジできる体制は社員のクリエイティブな部分を引き出しスキルアップに寄与している。吉田社長はWell-Beingを土台とし、モノの量産や試作は手段であり目的は社員の幸せだと語る。工程の自動化は通常、効率化や生産性の向上のために行われる。し

かし吉田工業では、労働環境の改善や、重労働の軽減のために設備を導入している。社員のための投資をためらわないからこそ270人の社員も吉田社長に惹かれているのだろう。

2035年までに宇宙産業への参入を目指している。さらなる難易度の高いモノづくりもクリエイティブな吉田工業なら乗り越えられるだろう。吉田工業の社員を大切に作る取り組みはまさしく働き手第一の理想的な答えである。人の命を守り続けてきた確かな技術と、社員を大切に作る企業風土で今後の未来社会に大きく貢献していく。



得意技術	グラビティ鋳造、3D プリントによる中子造形
主要材質	アルミ合金
製造能力	電気炉・保持炉：約 50 台、鋳造機：約 90 台
製品分野	自動車部品、建設機械部品など（最大：数十万個 /lot）
海外拠点	タイ工場、中国工場

会社概要	◆会社名	吉田工業株式会社	◆社員数	270 人
	◆所在地	〒384-2202 長野県佐久市望月内匠 2166 番地 1（本社）	◆年間売上高	46.5 億円
	◆TEL	0267-53-2151		
	◆FAX	0267-53-5828		
	◆URL	http://yoshidanet.com/		



主工法 砂型鋳造 主材質 非鉄

エミダス会員番号：75090

株式会社イナテック



代表取締役社長 稲垣 良次氏

切削メーカーが始めた鋳物屋

株式会社イナテックは、トランスミッション部品の鋳物および金属切削部品の取り扱い製造メーカーである。今後のEV化の流れに伴い、主力製品の搭載点数の減少が見込まれることから、対策として多方面への技術展開に取り組んでいる。「事業転換のポイントは『高精度な技術をお客様が使いやすい形でお届けできるか』です。」と稲垣社長。現在、時代のニーズに応えるべく、2つの『一貫ビジネスモデル』の先鋭化を進めている。

ひとつは、鋳物から仕上げまでの『製品加工の一貫ビジネスモデル』。イナテックは、鋳物から仕上げ加工まで一貫製造できるところが、強みである。早くから「高精度な3D技術」に着目し、機械の切削加工で培った加工ノウハウを鋳物の木型製作に活かす、CAEの3次元シミュレーションを鋳込み条件や方案設計

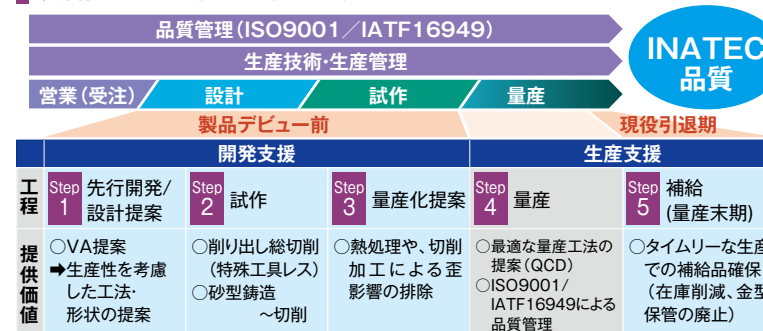
に取り入れる、表面仕上げの簡素化を見据えた「きれいな鋳肌」で作る、などの一つひとつが、QCD向上への拘りである。鋳物から仕上げまでを「ワンストップ・ソリューション」として、一括りで提供する『製品加工の一貫ビジネスモデル』は、お客様の調達部門の負担軽減に繋がる。このビジネスモデルで1個単位の試作品から、数百個単位の量産品まで対応している。

もうひとつは、試作品から量産品まで、製品の『ライフサイクルを見据えた一貫ビジネスモデル』だ。試作開発事業と量産事業の両方を併せ持つイナテックは、製品ライフサイクルの各々のフェーズ毎の技術サポートも得意としている。ここでもイナテックの3D技術は広がりを見せる。例えば、アルミブロックの総削り出しで、トランスミッションケース

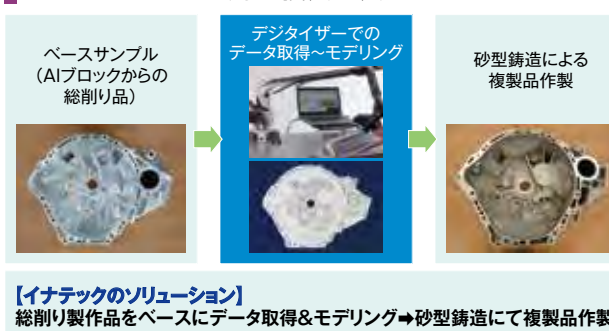
をダイカスト並みの精度で加工するといった技術は、3Dスキャナーによるモデリングとの組み合わせでリバースエンジニアリングを実現している。この事例は、製品開発時の解析サービスだけでなく、ダイカスト部品での金型の保管等で課題が多い、長期部品供給・補給品保管の問題に、新たなソリューションとなる可能性を秘めている。

2021年の鋳造拠点の移転に伴い、鋳物と切削の新たな付加価値を提案すべく、「キャスティング・ファクトリー」を新設した。用途に応じて最適素材組成の提案を行うアルミニウム製品や、軽量で振動吸収性の良いマグネシウム製品など、鋳造の技術革新はここで行われている。今後も、鋳物・切削のリーディングカンパニーとしての役割を担っていくイナテックの発展に注目したい。

製品ライフの最初と最後に強みあり !!



保管サンプルから鋳造複製作製 (リバースエンジニアリング)



【イナテックのソリューション】
総削り製作品をベースにデータ取得&モデリング⇒砂型鋳造にて複製品作製

会社概要	◆会社名	株式会社イナテック	◆社員数	420 人
	◆所在地	〒444-0704 愛知県西尾市鳥羽町大入 20 番地 1	◆年間売上高	202 億円
	◆TEL	0563-62-6388(代)		
	◆FAX	0563-62-6221(代)		
	◆URL	https://www.inatec-corp.com/		



得意技術	砂型鋳造
主要材質	アルミ合金、マグネシウム合金
製造能力	電気炉：2 台 (300kg・200kg)、鋳造機
製品分野	自動車ミッションケースなど（製品重量：30kg程度まで）

主工法 ダイカスト 主材質 非鉄

エミダス会員番号：88927

岩機ダイカスト工業株式会社 



手前：技術管理部長 鈴木 芳徳氏／奥：専務取締役 横山 廣人氏

量産設計を見据えた内製金型 & 高品質な生産を可能にする設備力

岩機ダイカスト工業株式会社は、宮城県亘理郡に本社を構える総合ダイカストメーカーだ。同社は高品質なアルミニウム、亜鉛、スクイズ鋳造製品、および小型かつ複雑な形状の金属粉末射出成形品（MIM）を生産している。生み出される高精度・高機能なダイカスト製品は、自動車、バイク、事務機器、電気・電子製品などの部品として幅広く利用されている。

新型コロナウイルス感染拡大以前から、鋳造業界は経済状況が厳しいと見込まれていたが、同社の前年度売上は89億円と、過去最高額を達成した。自動車メーカーからの需要により、コロナ禍の影響を大きく受けず好調な状態が続く。

売上の約8割を占めるのは、主力事業であるアルミダイカストである。金型の設計製作から量産設計までを内製で行っており、開発段階では3Dプリンターを使用したプロトタイプを活用し、部門会議や顧客との確認を通じて、ダイカスト製法に適した製品デザインを提案する。

また、工場は24時間無人で稼働する生産ラインを完備。さらに、三次元測定機

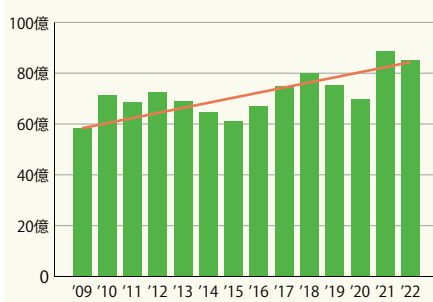
やX線検査、ガス量分析装置などの設備を備えており、材料試験から製品精度の検査までを徹底して行い、品質を保証している。

現代の多品種少量生産形態を支える最大の技術課題は、「高精度で良質な金型をタイムリーに供給し、低コストかつ高効率な生産体制を構築すること」と当社は考える。特に力を入れているのが、ダウンサイジングだ。独自のダイカストシステムで設計された金型は、通常の鋳造圧よりも低い圧力で鋳造することができ、それによりマシンサイズを小さくすることが可能となった。小さな設備での製作が可能になったことで、材料・燃料コストおよび金型製作コストの削減を実現した。実際に、通常は1000tのダイカストマシンを必要とするフィン部品を、650tでの量産に成功。この改良により、工程単価は従来比約20%低下し、金型寿命は1.5倍に延びるなど、低コスト化が実現した。

また、技術管理部長の鈴木氏は、「今後は、鋳造業界においても人手不足が課題となることが予想されるため、主に検

査工程の自動化に力を入れたい」という。現状、人による目視検査と画像検査をハイブリッドで検討しているとのことだ。将来を見据え、人手不足への対策も余念がない。岩機ダイカストの高効率生産性とお客様目線でのコスト削減への挑戦は、今後のダイカスト量産製造業の見本となっていくであろう。さらなる岩機ダイカストの発展に期待したい。

●売上高推移



ダウンサイジング事例

◆会社名 岩機ダイカスト工業株式会社
◆所在地 〒989-2204 宮城県亘理郡山元町鷺足字山崎 51-2
◆TEL 0223-37-3322 (代表)
◆FAX 0223-37-3720

◆URL <https://www.iwakidc.co.jp/>



◆社員数 313人

得意技術 ダイカスト、
メタルインジェクション (MIM)

主要材質 亜鉛合金、アルミ合金

製造能力 ダイカストマシン：約 50 台
(～1,000t)、
超高速精密鋳造機：20 台

製品分野 車載部品、産業機械部品など

主工法 ダイカスト 主材質 非鉄

エミダス会員番号：88036

株式会社秋葉ダイカスト工業所 



代表取締役 社長 秋葉 雅男氏



自動車内燃機関

グローバル化、素材開発による 発展に向けて

株式会社秋葉ダイカスト工業所は、金型の設計から鋳造、組み立て加工、表面処理、製品組み立てまでを一貫して行うダイカスト工場だ。群馬県高崎市に主力工場を置き、タイ、ベトナムにも製造工場がある。製品は自動車部品のほか、配電盤・産業機器などの業界に提供されている。特に自動車のCVTバルブボディのような難易度の高い部品製造には特徴があり、配電盤に用いるロックハンドルの製造には大きなシェアを持っている。

秋葉ダイカスト工業所の前身は、1935年に当社創業者の秋葉猛氏の父が東京都大森区に金型製作所として秋葉製作所を設立したところにあり、戦後、金型の製造拠点を現在の群馬県高崎市に移転した後、金型職人であった秋葉猛がダイカストを研究し、独立創業した。同社の特徴でもある「金型の設計も行うダイカスト屋」のルーツはそこにある。

従来から取り組んでいることは、金型の構造設計を駆使した部品の一体化等、低コストで複雑な部品を作る技術である。また、近年は高い熱伝導性を持つアルミの使用用途として熱マネジメント部材の開発供給に力を入れており、薄肉フィンを持つヒートシンク部材の生産を

行っている。更に今後需要の拡大を睨み、パワーモジュール部材の開発に2004年から着手し、シリコンカーバイトとアルミの複合材（AL-SiC）をダイカストで成形する技術開発を皮切りに双ロール連続鋳造技術開発等を行った。AL-SiCの部材供給は無加圧浸透法によるIGBTベース板の製造・販売に関する米国企業と、アジア域内での独占販売契約を締結した。「狙いはパワーデバイスで使われるIGBTベースプレートの拡大需要対応です」と秋葉氏は言う。銅やアルミは、熱伝導率が高いが膨張するという欠点を抱えている。そこにアルミニウムにシリコンカーバイトを加え膨張せず高い熱伝導率を達成している。需要の拡大するパワー半導体を用いたパワーモジュールの熱対策部材AL-SiCベースプレートの製造方法として大量生産性のあるダイカストや無加圧浸透法を適用し、サプライチェーンの維持拡大への貢献ができる。

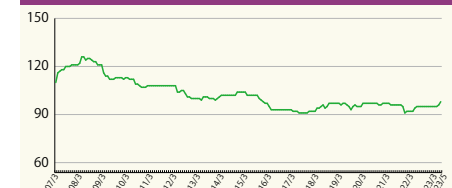
当社の拠点は日本国内の関連会社2社の他、海外ではタイ・ベトナムの3つの関連会社がある。表面処理メーカーのエムケーサイエンス（長野県辰野町）、ダイカスト金型メーカーの北川精密工業（神奈川県横浜市）、AKIBA COATING&TECHNOLOGY

Vietnam（ホーチミン）。いずれも本業のダイカストではない面で、グループ企業として連携している。総従業員数は771名。グループ連携とグローバル化によって、中核となるダイカストの他、部材メーカーとしての付加価値を高めている。

今後はコロナショックによる自動車部品の落ち込みや、原材料、電気代・ガス代の高騰などの苦難にも、設備投資と技術で立ち向かっていかなければならない。LPGと灯油を利用していたものを都市ガスへ切り替えることにより、CO₂排出量を20%削減し、燃料代も抑えていく。

AL-SiCなどの素材への取組、金型、鍍金業への進出、グローバル化。こうした未来への取り組みが、同社の成長の糧である。

●社員数推移 (社長就任後～2023年)



●社員数 (2023年5月現在)

秋葉ダイカスト	100
Akiba coating & technology Vietnam	161
MK サイエンス	20
北川精密	21
TSM Technology Vietnam	195
Thai Akiba	274
合計	771

◆会社名 株式会社秋葉ダイカスト工業所
◆所在地 〒370-0072 群馬県高崎市大八木町 580
◆TEL 027-361-4499
◆FAX 027-361-0272 (総務)、027-361-9904 (営業)
◆社員数 100人
◆年間売上高 23 億 1 千万円 (2022 年 8 月期)
出資先合計：63 億 2 千万円

◆URL <http://www.akidc.co.jp/>



得意技術 ダイカスト (真空鋳造法)

主要材質 亜鉛合金、アルミ合金

製造能力 ダイカストマシン：18 台 (～ 650t)

製品分野 薄肉フィンを持つヒートシンク (アルミ)・亜鉛精密部品・表面処理ダイカスト部品

海外拠点 タイ工場、ベトナム工場

主工法 ロストワックス 主材質 非鉄

エミダス会員番号：77539

株式会社キャスト



ロストワックス精密製品

独自の技術と選択で重ねる、新たな挑戦

株式会社キャストは製菓工場をルーツに持つ企業で、創業当初はカステラ、アメ、チョコレートなどの製造販売を行っていた。製菓機械の保全部門でロストワックス精密鋳造の試作を始め、1970年に鋳造部門を分離独立させ、同社を設立した。

現在のメイン事業は精密鋳造とMIM（金属粉末射出成形法）で金属部品の製造を行なっている。精密鋳造は、金属を溶かして部品を作り、MIMは金属の粉末から部品を作るという方法だ。後者はクッキー作りに似ており、小麦粉と卵を混ぜて焼いて膨らませる代わりに、金属粉末と樹脂を混ぜ合わせ焼き固めることで樹脂を蒸発させ密度を高め、部品を作っていく。製菓メーカーからスタートした知見もあり、独自で開発した技術だ。

医療機器、工作機械、半導体製造装置など幅広い産業において他社が敬遠する複雑な製品や小ロットの製造に積極的に取り組み、また医療機器に使用される規格が厳しい材質など、約70種類の部品に対応。早い段階で海外の製造拠点を設立し、数個単位の部品を丁寧に仕上げている。最近では3Dプリンタを活用し、

金型を必要としない短納期鋳造『デジタルキャスト製法』を推進するなど、デジタルとアナログの融合で新たな製造技術の立ち上げも果敢に行い、インターステラテクノロジズ株式会社のロケット部品などスタートアップとの連携や、大手メーカーの研究開発部門への供給も活発化してきている。デジタル造形の文脈では、京都先端科学大学との産学連携プロジェクトにおいて超微細3D造形のサービスも開始するなど「デジタル化」「微細化」というテーマも追求している。また2015年頃から、自社技術を活かした新規事業にも力を入れている。全社員から新しい事業のアイデアを募集し、OEM事業の展開だけでなく、モノづくりのノウハウを生かした自社商品開発や農業へ参入。コロナ禍の困難もあったが2023年度のグループ売上目標100億円のうち2%は新規事業である。

直近では、新型コロナウイルスの影響もあり、半導体製造機器の部品製造の依頼が増加。全体の売上においてタイの3工場とフィリピンの工場がとくに好調だ。オーダーに追いつかない状況が続いており、ベトナム工場の立ち上げも決め

た。一方、日本国内では2021年にJUKI株式会社と提携もした。

戸田有紀専務執行役員は「急激なデジタル化の進歩、人手不足や高齢化に対して、様々な面での環境整備が必要です。デジタルキャスト専用工場の立ち上げ、新規事業の分社化のほか、食堂チーム主導の飲食店の開店など『関わるすべて人びとに素敵な驚きを届ける』をテーマに実行していきます」と、企業の魅力を高める戦略に力を入れている。



超微細3Dプリント



MIM工場

◆会社名 株式会社キャスト ◆社員数 300人(連結1,630人)2022年度
◆所在地 〒720-0004 ◆年間売上高 93億円 2022年度
広島県福山市御幸町
大字中津原 1808 番地 1
◆TEL 084-955-2221 (代表) ◆FAX 084-955-2065
◆URL https://www.castem.co.jp/



得意技術	ロストワックス、 メタルインジェクション (MIM)
主要材質	鋼材、ステンレスなど
製造能力	電気炉、射出成型機
製品分野	造船、機械、食品など一般産業機器全般
海外拠点	タイ工場・フィリピン工場・ コロンビア工場、アメリカ営業所

主工法 石膏鋳造 主材質 非鉄

エミダス会員番号：73417

株式会社ニューテック



石膏・消失鋳造で、短納期、金型レスで原品試作に挑戦！

株式会社ニューテックは、アルミニウムとマグネシウムを用いた石膏・消失鋳造、6ナイロン注塑で試作・小ロット部品を開発製造するメーカーである。これまでは、自動車関連部品を中心に製造してきた。

ニューテックの石膏・消失鋳造は金型レスで行うため短納期試作に向いている。石膏鋳造は、ダイカストと同等の精度、鋳肌での製作が可能だ。ダイカスト量産を目的とした試作品に多く使われ、少数、小ロット、試作の部品製作に適している。

消失鋳造は3Dプリンターでポリスチレンを用いて消失モデルを製作する。型枠に消失モデルをセットして石膏スラリーを流し込み、石膏型の乾燥とともに消失モデルを消失させ、その後金属を注湯する。金属が固まったら石膏でできた鋳型を壊し、仕上げを経て鋳物の完成となる。旧来の工法では3Dプリンター造形物の積層痕が鋳肌に転写されてしまうが、ニューテックでは、石膏鋳造と同レベルのきれいな鋳肌を実現している。ま

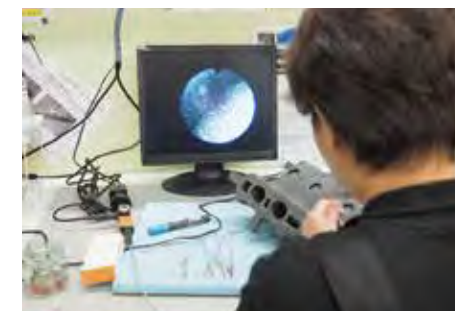
た、機械的強度の向上も実現している。同社では、成分分析機を保有しており、既製品のインゴットだけでなく合金の化学成分の調査を行い、機械的性質をコントロールする技術も特徴の一つとなっている。

これらの製法は自動化できない部分が多い。3Dプリンター造形物を取り出す作業や、美しい鋳肌を整える仕上げ処理は、手作業となる。そこでは、熟練したスタッフが必要となる。石膏・消失鋳造の強みである複雑な造形+量産同様の鋳肌を作り出すためには、人の手と目が必要なのだ。品質管理体制も、発光分析や材質管理、接触・非接触の三次元測定機、電子顕微鏡やX線、CTやレッドチェックを活用して製品の状態を把握できている。

現在、自動車関係だけでなく船外機などのマリン関係やレース関係の受注が、伸びている。億単位の賞金が出るレースに使う船は馬力勝負だ。ほかカーボン繊維を含んだナイロン樹脂やマグネシウムの軽量のパーツがドローン関係に好評で

ある。

今後は、消失鋳造でさらに大型のパーツの製造に取り組んでいく予定だ。砂型だと、薄型にはできず肌荒れして湯が回りにくい。消失鋳造の利点を生かして軽量化や材料削減が可能となることに着目し、開発を続けていく。同社の次なる試作・開発に期待したい。



検査の様子



石膏鋳造の様子

鋳湯の様子

得意技術	石膏鋳造、消失鋳造
主要材質	アルミ合金、マグネシウム合金
製造能力	電気炉：3台 (40Kg・40Kg・170Kg) ガス炉：1台 (40Kg)
製品分野	試作 (エンジン関連部品、空圧機器部品など)

◆会社名 株式会社ニューテック ◆社員数 40人
◆所在地 〒381-0101
長野県長野市若穂綿内 1136-18
◆TEL 026-282-7231
◆FAX 026-282-7234
◆URL https://www.newtech-plast-cast.com/



鑄造特集 工場動画

工場動画

P26 友鉄工業株式会社



鉄とともに生きる〜JUST GOOD IMONO〜



鑄造のスペシャリストTOMOTETSU



P28 株式会社ハズ



ダクタイル鑄鉄製品の一貫生産



P30 昭和電気鑄鋼株式会社



会社案内



P27 株式会社サトキン



アルミ合金・銅合金の砂型鑄造



銅の注湯シーン（小）



鑄造欠陥対策 【ガス穴】



P33 株式会社イナテック



“モノづくりを究める”CORPORATE PROFILE



P32 吉田工業株式会社



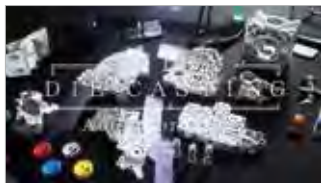
会社案内



鑄造工程のロボット自動化事例
一砂落とし工程編



P35 株式会社秋葉ダイカスト工業所



取扱製品（ハンドル、鉄道部品、
ヒートシンク、自動車部品）



P36 株式会社キャストム



精密部品のキャストム
～ロストワックス、メタルインジェクション～



NCネットワークでは
製造業専門の動画等を
製作しています

制作に関するお問合せ

TEL 03-5822-1482

メール



動画について



エミダス・スタイル
EMIDAS
STYLE
エミダス会員Pickup

フジテック株式会社

エミダス会員No. 85641

各種鋼材R曲げ加工・IT導入支援

一点特化の情報発信で新規売上額倍増

住 所 ● 〒334-0057
埼玉県川口市安行原100-2
T E L ● 048-297-5103
F A X ● 048-297-5104
社員数 ● 33人
年間売上高 ● 4.6億円
U R L ● <http://www.mage-ftp.co.jp/>

主要三品目

- ・鋼板曲げ（ロール曲げ）
- ・R曲げ
- ・プレス曲げ



動画サイト



公式サイト



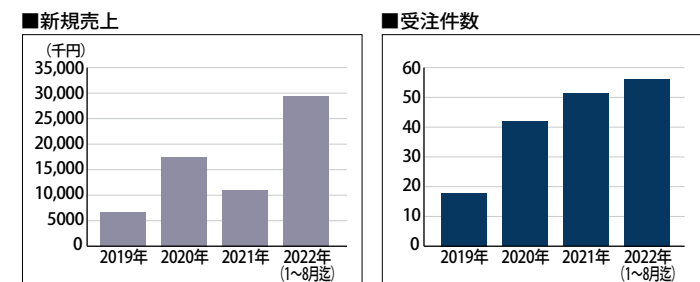
エミダス
企業ページ

前年の売り上げをたった3ヶ月で更新

各種鋼材R曲げ加工専門メーカーであるフジテック株式会社。優れた曲げ技術は、最先端の医療、建築、土木、各種プラント、芸術関係等の製品として広く使われており、大きなものは東京タワーや六本木ヒルズの建築にも携わった。

同社は以前、WEBサイトには会社を知ってもらうための簡単な内容だけを記載していた。しかしコロナ前から売り上げが減少していたこともあり、刷新（NCネットワーク製作）。製造業関係者への訴求に力を入れたことで、新規営業のほぼ全てがWEBからの問い合わせとなった。

また、工場検索エンジン「EMIDAS」も導入し、WEBサイトとEMIDAS両方からの新規獲得を目指す体制作りを始めた結果、3ヶ月後には、2021年度の新規売上額を更新した（※グラフ）。受注件数も、2022年8月時点で2021年度の件数を上回った。「EMIDAS導入なくして新規営業は成り立たない」と藤田専務は話す。WEBからの問い合わせは大小様々だが常に顧客別売上上位5位を占める。情報発信の内容を「曲げ」に特化したことで、サイトを訪れた発注者も同社のコンセプトを一目で理解でき、無駄のないやりとりに繋がっている。



利益率向上で営業部隊が活気づき、新たな地域・業界への参入を目指す

かつて同社の営業スタイルは、既存顧客が最優先だった。しかし、長くお取引しているからこそ時勢に伴う値上げがしにくい面もあった。現在は、既存顧客との良好な関係性を継続しつつ、EMIDASを通じて新規顧客と適正価格での取引ができ、利益率も向上。目に見える売上向上により営業部隊の勢いも増した。

さらに、関東エリアに限られていた取引も、EMIDASを導入したことで様々なエリアから「発注を前提とした」問い合わせが届くようになった。自社の技術製品情報をしっかり発信することで、的外れな問い合わせが減ったのだ。日本に限らず、香港からB to C向けの商品開発の依頼があったりと、新たな業界へのチャレンジにも繋がっている。難しい単品製品も真摯に対応することで、今後のリピートや知名度向上に繋げていく意気込みだ。

現在、技術製品情報を100点以上登録しているが、情報登録作業は、テレワークの社員に任せている。今後は、実際技術経験や営業経験のあるスタッフを増員することで、現場のニーズを知るスタッフからのアイデアをもとにした情報発信をしていく。

曲げ加工一筋32年。今後に向けて、溶接、後加工、塗装などを含めた一貫生産できる体制作りを目指している。完成品の仕事にも挑戦する中で協力工場と関係性も構築し、地域の活性化にも繋げていく予定だ。工業製品だけでなく、芸術製品など今まで参入してこなかった分野で、同社しかできない長年培った曲げ技術でたくさんの人と関わっていく。



展示会情報（2023年8月中旬～11月中旬）

日本

都市	開催日	展示会名	会 場	内容
東京	9/13-15	エヌプラス(N-Plus)2023 「New」「Next」をプラスする製品開発技術展	東京 ビッグサイト 南3ホール	▼展示会構成 《N+Technology》高機能・高付加価値化の提案 プラスチック高機能化展、軽量化・高強度化展、マルチマテリアル化展コーティング・表面 処理展、受託・付加製造・加工技術展、電磁波対策・放熱技術展、電動化・電池・給電技術 展 《N+Sustainability》持続可能なものづくりの提案 環境配慮型素材展、セルロースナノファイバー展、製品の長寿命化・循環活用展、次世代 製品開発DX展
千葉		Factory Innovation Week [秋] 2023	幕張メッセ	▼展示会構成 第2回 ロボデックス秋 第2回 スマート工場EXPO秋 第1回 グリーンファクトリー EXPO
名古屋	9/26-28	エアロマート名古屋2023	名古屋市 中小企業 振興会館 (吹上ホール)	航空機器、部品、サービス（機体構造、エンジン、装備品など）、MRO（航空機整備、エンジ ン整備、装備品整備など）、宇宙機器、サービス（ロケット、衛星など）、アーバンエアモビリ ティ（空飛ぶクルマ、eVTOL、ドローンなど）
大阪	10/4-6	第26回 関西 ものづくりワールド 2023	インテックス 大阪	▼展示会構成 第14回 関西 ヘルスケア・医療機器 開発展 2023 第4回 関西 計測・検査・センサ展 2023 第26回 関西 設計・製造ソリューション展 2023 第6回 関西 ものづくり AI / IoT展 2023 第4回 関西 次世代 3Dプリンタ展 2023 第26回 関西 機械要素技術展 第8回 関西 工場設備・備品展 2023 第2回 関西 製造業DX展 2023
福井	10/19-20	北陸技術交流テクノフェア2023	福井県 産業会館	機械・精密、情報通信、繊維、電気・電子、化学、建設、鉄鋼・非鉄金属、環境・エネルギー
長野	10/19-21	諏訪圏工業メッセ 2023	諏訪湖 イベントホール	工業関連切削・プレス・電子・金型、微細加工技術
名古屋	10/25-27	FACTORY INNOVATION Week NAGOYA 2023	ポートメッセ なごや	工場・物流向けロボット・AGV、ロボット向けの部品・材料、遠隔監視、予兆保全、ビッグ データ解析、技術継承、FEMS、CO ₂ /エネルギー見える化、再エネ、省エネ機器 ほか
		第6回 名古屋 オートモーティブワールド		自動運転、クルマの電子化・電動化、コネクティッド・カー、軽量化 など
		第6回 名古屋 ネブコン ジャパン		実装・検査機器、半導体組立装置、電子部品・材料、プリント配線板、微細加工技術、LED・ 半導体レーザー ほか
新潟	10/26-27	燕三条ものづくりメッセ2023	燕三条 地場産業振興 センター	加工技術分野（機械加工、プレス加工、表面処理など）、民生品分野（作業工具、利器工匠 具、木工品、ハウスウエア、キッチン用品など）、機械装置・治工具分野（プレス機械、工作 機械、コンプレッサーなど）、ソリューション・コンサルタント、産学研究機関（大学、高専、 研究機関など）
千葉	11/28-12/1	IPF Japan 2023 - 国際プラスチックフェア	幕張メッセ 1～8ホール	プラスチック・ゴムに関する原材料、機械、製品、リサイクル機器、受託加工など
神奈川	11/29-12/1	マイクロウェーブ展2023 (MWE 2023)	パシフィコ 横浜	マイクロ波技術関連の学術、産業、教育に関する国内最大級のイベント
東京	11/29-12/1	表面改質展2023	東京 ビッグサイト	めっき、表面処理、焼き入れ等の表面改質技術全般
		高精度・難加工技術展2023		高精度加工、高効率加工、微細加工、試作等の少量生産技術、3 Dプリンター関連技術等

展示会情報（2023年8月中旬～11月中旬）

中国・ASEAN

地域	都 市	開催日	展示会名	会 場	取扱品目
中国	上海	9/4-7	THE 10TH ALL CHINA-INTERNATIONAL WIRE&CABLE INDUSTRY TRADE FAIR	上海新国際博 覧中心	ワイヤー・ケーブル製造・加工機械、光ファイバー・ファスナー・ばね製造機械、工具、関連 機器、原材料、ワイヤー・ケーブル製品、ファスナー製品、ばね製品、測定・制御・検査技 術、など
		9/ 19-23	IAS 2023-Industrial Automation Show	国家会展中心 (上海)	工場の自動化技術、電機システム、ロボット、工場の自動化のITソリューションとソフト ウェア
	北京	9/ 22-25	WICV 2023-World Intelligent Connected Vehicles Conference China International New Energy and Intelligent Connected Vehicles Exhibition	中国国際展覧 中心(順義館)	エネルギー効率の高い自動車、新エネルギー車、バッテリー、電気モーター、電気制御、 充電インフラストラクチャー、その他の関連製品
	深圳	10/ 11-13	NEPCON ASIA 2023	深圳国際会展 中心(宝 安 新 館)	エレクトロニクス製造・実装機器、はんだ関連、工場設備・備品、測定・試験・分析機器、 外観検査装置、検査関連部品、アセンブリ装置、パッケージング材料・部品、電子製造自 動化関連機器・部品、など
		10/ 11-13	AUTOMOTIVE WORLD CHINA	深圳国際会展 中心(宝 安 新 館)	自動車部品、車載機器、EVテクノロジー関連製品、試験技術、全自動自動車
	上海	10/ 24-27	FBC Shanghai 2023 in PTC (FBC上海2023 ものづくり商談会 in PTC)	上海新国際博 覧中心	FA自動化・設備、自動車・船舶製造、電子電気、省エネ・環境、工場MROに関連する製 品・材料・部品・加工企業および商社など
		10/ 24-27	PTC ASIA 2023-POWER TRANSMISSION AND CONTROL	上海新国際博 覧中心	油圧技術、空圧技術、ベアリング、モーター、チェーン、ベルト、バネなど
	広州	11/1-3	China Guangzhou Automotive Technology Expo 2023	広州保利世貿 博覧館	自動車部品および加工技術・成形設備、生産自動化、計測機器、金型および材料・部品、 電気自動車部品および加工技術、など
	上海	11/5-10	CIIE 2023-CHINA INTERNATIONAL IMPORT EXPO (第6回 中国国際輸入博覧会)	国家会展中心 (上海)	食品・農産物、自動車、知的産業・情報技術、消費財、医療機器・ヘルスケア製品、貿易 サービス、イノベーション
	タイ	バンコク	SETA 2023 - Sustainable Energy Technology Asia	C e n t a r a G r a n d & B a n g k o k C o n v e n t i o n C e n t r e	電力・電気、エネルギーマネジメント、ビルエネルギー技術、産業エネルギー、ゼロエミッ ションモビリティ・ストレージ、水素・燃料電池、再生可能エネルギー、ソーラー技術、エネ ルギー貯蔵技術、EV・充電システム、デジタルエネルギー、その他
				BITEC	マテリアルハンドリング、パッケージング、倉庫・荷役、物流IT・テレマティクス・通信、輸 送・ロジスティクスサービス
	バタヤ	9/6-8	FBC ASEAN 2023 ものづくり商談会	NICE	製造業：部品調達、販路拡大を目的とする製造業企業／金属製品、自動車・鉄道・船舶 製品、鉄鋼業、非鉄金属、一般機械器具、電気機械器具／情報通信機械器具、電子部 品・デバイス、精密機械器具、化学工業、プラスチック・ゴム製品 など ソリューション企業：製造業企業にサービス、製品を提供する非製造業企業、商社、IT(ソ フト開発)、人材、物流、工業団地 など
ベトナム	ハノイ	8/ 23-25	FBC ASEAN 2023 ものづくり商談会	NECC	製造業：部品調達、販路拡大を目的とする製造業企業／金属製品、自動車・鉄道・船舶 製品、鉄鋼業、非鉄金属、一般機械器具、電気機械器具／情報通信機械器具、電子部 品・デバイス、精密機械器具、化学工業、プラスチック・ゴム製品 など ソリューション企業：製造業企業にサービス、製品を提供する非製造業企業、商社、IT(ソ フト開発)、人材、物流、工業団地 など
		9/6-8	NEPCON Vietnam 2023	ICE	電子機器製造サービス、電子部品、携帯電話部品、フラットパネルディスプレイモジュ ール、アプリケーション、自動車部品、部品製造技術、その他
	ホーチミン	10/4-6	METALEX Vietnam 2023	SECC	金属工作機械、板金成形機、精密測定・試験、工作機械アクセサリ、工具・ツール、研削 ホイール・研磨材、金型、パワートランスミッション、製造・プロセスオートメーション、ワイ ヤ・チューブ・ファスナー、溶接、半製品・原材料、その他

海外へのPRに向けた新しいツールを試してみませんか？

“海外へのPRを考えているが、新しく文章を考えたり写真を考えたりするのが大変だ”。そんな会員企業様に朗報です。NCネットワークはこの度、日本貿易振興機構（以下、Jetro）と提携。エミダスとJetroが運営する海外向けのPRサイト“Japan Street”との連携により、海外向けの情報発信を簡単に始められるようになりました。

Japan Streetは日本の製品や技術の世界中のバイヤーに知らしめるために運営されているWebsiteです。ここには日本企業の基本情報や技術・製品情報が英語で登録されており、世界中からアクセスがあります。

Japan Streetの中に気になる企業があった海外バイヤーからの問い合わせは、Jetroに届きます。問い合わせを受けたJetroはサプライヤーとの商談をセットし、仲介に入ってく

れます。この仕組みにより、サプライヤー側は安心して商談に臨むことができるのです。

情報を掲載するところから商談をセットしてもらうまでの流れは一切無料です。取引が成立した後も、費用がかかることはありません。

海外へのPRを考えている皆様、是非、Japan Streetに情報掲載してみませんか？エミダス会員専用の申込フォームから申し込みば、エミダスに登録されている①会社の基本情報 ②技術製品情報（3点まで）が自動的に英訳されてJapan Streetに掲載される仕組みになっています。

この機会に、どしどしお申し込みください。



「Japan Street画面」



●Jetroとの共同企報告: Jetro埼玉 海外セミナー

去る6月14日、Jetro埼玉とNCネットワークの共同企画として、“海外販路開拓セミナー&懇親会”が開催されました。エミダス会員企業である、狭山金型製作所の大場社長からの自社の海外展開の取組についての紹介があった他、弊社 大塚からはベトナム進出の成功事例の共有がありました。また、JetroからはエミダスとJapan Streetの連携についての説明があり、セミナー参加企業の皆様は早速、Japan Streetに申し込みいただいていたいました。



エミダスとJapan Streetの連携についてご質問のある方はお気軽にお問合せください。
エミダス・Japan Street連携担当 ✉ rp@nc-net.or.jp

出展社募集

FBCアセアン2023 ものづくり商談会



ベトナム／ハノイ

会期：2023年8月23日(水)～25日(金)
現地時間 9:00～17:00 (3日間)
出展者数：200社
来場者数：5,000名(想定)
主催：NC Network Group



在ベトナム日系・ローカル企業を中心として、日本・中国・ASEAN等からの出展社、ベトナム全国・海外からの来場者が集まる展示商談会。

中国からの生産移管による外注先、協業先発掘を目的とした企業が多数参加。政府や業界団体等の協力も得て、多数の優良ローカル企業とのマッチングも可能。FBCアセアンの出展企業は、10月に開催するオンライン商談会にも参加できます。



タイ／パタヤ

会期：2023年9月6日(水)～8日(金)
現地時間 10:00～18:00 (3日間(時間は予定))
出展者数：230社(内30社がFBCアセアンの出展社(予定))
来場者数：5,000名(想定)
主催：NC Network Group
併催：Informa Markets / SUBCON / BOI(タイ投資委員会)



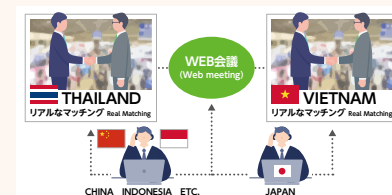
東部経済回廊(EEC)の中心に位置するパタヤで開催される、唯一の製造業向け大型展示商談会。BITECなどバンコクの展示会へは足を運ぶことができないチョンブリ・ラヨン地域で勤務するタイ人スタッフの方が多数来場することが特徴。バンコク会場と同様にタイサブコン協会・Informaとの併催。併催の各展示会の出展社・BOI経由のバイヤーへの商談申込が可能。※オンライン出展の権利は含まれません。



オンライン

会期：2023年10月10日(火)～12日(木)
現地時間 9:00～17:00 (3日間)
出展者数：500社
オンライン来場者数：200名(想定)
主催：NC Network Group

ASEANで最大規模の製造業向けオンライン商談会!22年は500社を超える企業が参加し、ASEANからの調達を検討するバイヤーが各国から集結。事前に商談申込を行えるためオンライン商談でも1,000件以上の商談を実現。「タイ⇄ベトナム」を中心とした越境商談を手軽に行えます。オンライン商談開催期間でも、商談が入っていない時間は通常業務を行っていただけます。



▶オンライン来場者募集中!

※来場者はオンラインでもオフライン(※ブース商談)でも参加できます

Point!

- 出展社への商談申込が可能
- 調達希望のバイヤーが参加
- ビッグバイヤーが多数参加

登録はこちらから



オンライン商談申込締切：9月下旬(予定)

マッチングの流れ

①情報登録

●出展企業

販売品目・調達品目・加工分類をサイトに登録

●来場者

調達品目・加工分類をサイトに登録

②商談先候補の検索、商談申込

※「加工分類」「調達ニーズ」から検索可。一覧表示されるので、商談候補の企業を簡単に見つけられます!
※事前に出席者に商談の申込ができます

③会期当日

WEBミーティングシステムを通じて商談を実施します

公式サイト

<http://fbcasean.com/>



問合せ先

NC NETWORK ASIA CO., LTD / NC NETWORK VIETNAM JSC
タイ:+66-92-426-9469(嶋) / ベトナム:+84-93-459-8833 (鈴木)
✉ fbc_asean@nc-net.or.jp

NCネットワーク
主催

セミナー(オンライン)&工場見学会 (8月～10月開催)

※定員に達した場合は、予告なく募集を締め切りとさせていただきます。

セミナー(オンライン)

2023年**8月1日**🕒 16:00～17:00
**エミダス活用セミナー
初級編**
講師：NCネットワーク 製造業向けPR支援サービス部 亀山貴子

2023年**8月8日**🕒 16:00～17:00
**エミダス活用セミナー
中級編②**
講師：NCネットワーク 製造業向けPR支援サービス部 鉄川沙織

2023年**8月29日**🕒 14:00～
**自社商品開発研究会
工場見学会**
講師：NCネットワーク 製造業向けPR支援サービス部 大谷裕

2023年**9月5日**🕒 16:00～17:00
**エミダス活用セミナー
初級編**
講師：NCネットワーク 製造業向けPR支援サービス部 亀山貴子

2023年**9月12日**🕒 16:00～17:00
**エミダス活用セミナー
中級編②**
講師：NCネットワーク 製造業向けPR支援サービス部 鉄川沙織

2023年**9月19日**🕒 16:00～17:00
**Webマーケティング
セミナー**
講師：NCネットワーク 製造業向けPR支援サービス部 酌河内俊和

2023年**9月26日**🕒 16:00～17:00
**自社商品開発研究会
セミナー(平成工業様)**
講師：NCネットワーク 製造業向けPR支援サービス部 大谷裕

2023年**10月10日**🕒 16:00～17:00
**エミダス活用セミナー
初級編**
講師：NCネットワーク 製造業向けPR支援サービス部 亀山貴子

2023年**10月17日**🕒 16:00～17:00
**エミダス活用セミナー
中級編①**
講師：NCネットワーク 製造業向けPR支援サービス部 鉄川沙織

2023年**10月24日**🕒 16:00～17:00
**エミダス活用セミナー
中級編②**
講師：NCネットワーク 製造業向けPR支援サービス部 鉄川沙織

2023年**10月31日**🕒 14:00～予定
**自社商品開発研究会
工場見学会(平成工業様)**
講師：NCネットワーク 製造業向けPR支援サービス部 大谷裕

工場見学会

優良企業 見学会

「顧客からの高い支持がある」、「事業が安定している」、「社員満足度が高い」この3つの特徴を有する中小製造業の生の現場から、成長のヒントを学ぶ工場見学会です。

対象	経営者、エンジニア (全会員並びに、今後会員を検討いただける製造企業)
定員	20名～30名 見学会により異なります。

参加費(税込)	
エミダス・プロ会員/ノーシング会員	1万円
エミダス・プロライト会員	2万円
その他会員	3万円
非会員	3万5千円

※懇親会費は含みません。
※バスをチャーターし、移動するため、最寄り駅から見学先までの移動費が含まれます。
※場合によっては、費用が追加される場合があります。

2023年**9月8日**🕒
12:30～17:30(終了後、懇親会を開催)
吉田工業株式会社
(長野県佐久市)
<http://yoshidanet.com/>

★長野県SDGs推進企業登録
★将来世代応援知事表彰にて「将来世代応援企業賞」を受賞
アルミ鋳造技術をベースに切削加工と10年前から3Dプリンターを導入し試作から量産までを一貫して対応する吉田工業。

吉田社長が入社当時、売上9億円だった会社を2022年には連結で50億円の会社に成長させた。その裏には、自動車業界の依存体質脱却、品質の立て直し、根気強く行ってきた優秀な人材の採用と社員研修、そして、建設機械、医療機器、産業ロボットと新たな業界への参入を行い、2022年は過去最高売上を記録。

吉田社長が更なる会社の成長を目指し、今力を注ぐのは、「社員の働き甲斐」や「働く環境の整備」。そのひとつとして、会社の敷地内に開業したアメリカンダイナーを社員食堂としても利用。シェフが毎日あたたかく、心のこもった食事を振舞う。

現在、国内の社員は270人で女性や外国人も多く、障がいを持つ人も安心して働ける環境を整え、ダイバーシティを実現。

今後も従業員の幸せを願い、吉田社長が目指すのは「楽しいカッコいい」製造業!



2023年**9月21日**🕒
9:00～17:30(終了後、懇親会を開催)
株式会社浅野
(群馬県伊勢崎市)
<https://www.asano-japan.com/>

オグラ金属株式会社
(栃木県足利市)
<http://www.ogura-gr.co.jp/>

アメーバ経営(小集団部門別独立採算経営)を取り入れ、社員一人ひとりが会社を支えていると実感できる「全員参加の経営」を行っている株式会社浅野。自動車部品から航空宇宙産業までつねに時代を先駆する技術革新力を追求する浅野の経営について浅野社長と本社・群馬工場事業部長の浅野取締役からお話を伺います。

その後は、2012年から累計811社、4,057名が「オグラ式足利流5S工場見学会」へ参加しに国内外から訪れるオグラ金属株式会社にて、「オグラ式足利流5Sミニセミナー」を受講していただきます。また、韓国やインドネシアなど国内外の大学や企業向けに5Sを始め経営全般、災害時の取り組みについて年間約8回講演をされる小倉副社長から、オグラ金属の歩みについてお話いただきます。



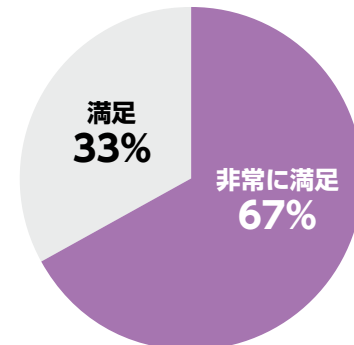
株式会社浅野



オグラ金属株式会社

工場見学会レポート

NCネットワークの工場見学会は参加者満足度100%!!



アンケート総回答数 89 回答を基に算出

参加目的

- ・売上が4倍になった企業から成長のヒントを探すため。
- ・加工スキルアップのため。
- ・経営者がどのような考えで自動化に取り組んでいるか、製品づくりに取り組んでいるかを肌で感じたかったため。
- ・最先端の現場に興味があった。見学に来られる他社様との交流も一つの目的。
- ・自身の知見向上と社内へのフィードバックのため。
- ・機械の効率的な稼働についてのアイデアをみつけるため。

参加者様の声

中国地方 板金・製缶企業 経営者様より

社長の熱い想いと、誇りを持って日々の業務に携わっている社員の方々の姿が、非常に印象に残りました。多くの気付きやヒントを頂いたので、弊社でも上手く落とし込みつつ、今後の参考にしたいと思います。

関西地方 機械加工企業 経営者様より

自動化による最先端の物づくりに圧倒されました。見学先の社長はじめ参加者の皆様と交流ができた良い刺激になりました。



中部地方 機械加工企業 広報主任様より

「製造業として何処を目指すのか」そんな言葉が大きく自分に残りました。経営と広報が密接な関係であることの再確認を実際にすることができ、今後広報として目指す所も明確化できました。先を見据えた活動の方向性をもっと深く社長と話し合っていこうと思いました。

九州地方 機械加工企業 経営者様より

各工程の数値データを収集・分析・改善について本来、製造業であればやらなくてはいけないことを徹底的に実行されており大変感銘を受けました。今回の工場見学で今の加工事業で見直す部分が本当に多く見つかり、今までで一番学びのある工場見学会だったと感じております。



北陸地方 樹脂成型企業 経営者様より

5軸マシニングの導入を考えている中で、実際に使用している所を見たいと思い、参加させて頂きました。業界は違いますが、今後もう言った機会を活用し交流できたら幸いです。

東海地方 生産財メーカー 営業本部長様より

知らなかったことがたくさんあり、大変に参考になりました。多岐にわたる事業を展開され、安定経営となっていることをお手本として精進したいと思います。



東北地方 機械加工企業 経営者様より

今後の「宇宙ビジネス」について、改めてやりがいを実感できる工場見学となり、「社会への貢献とは」を考えさせられる一日となりました。これからどのように貢献できるのか未知数ではありますが、従業員のモチベーションの維持・向上や技術力向上のために宇宙ビジネスに貢献できるよう精進して参ります。これからは希望をもって全社員で前に進んでいきます。

中国地方 電気機械器具製造企業 経営者様より

社長さんの日本一ではなく、世界一を目指すというお言葉には本当に刺激を受け、私自身ワクワクしました。自社でも掲げている目標やビジョンを社員にとことん語り、一緒にワクワクしながら仕事が出来様、これからは精進してまいります。本当に勉強になりました。ありがとうございました。

工場見学会レポートを公開、
現在募集中の見学会は
以下よりご覧いただけます。

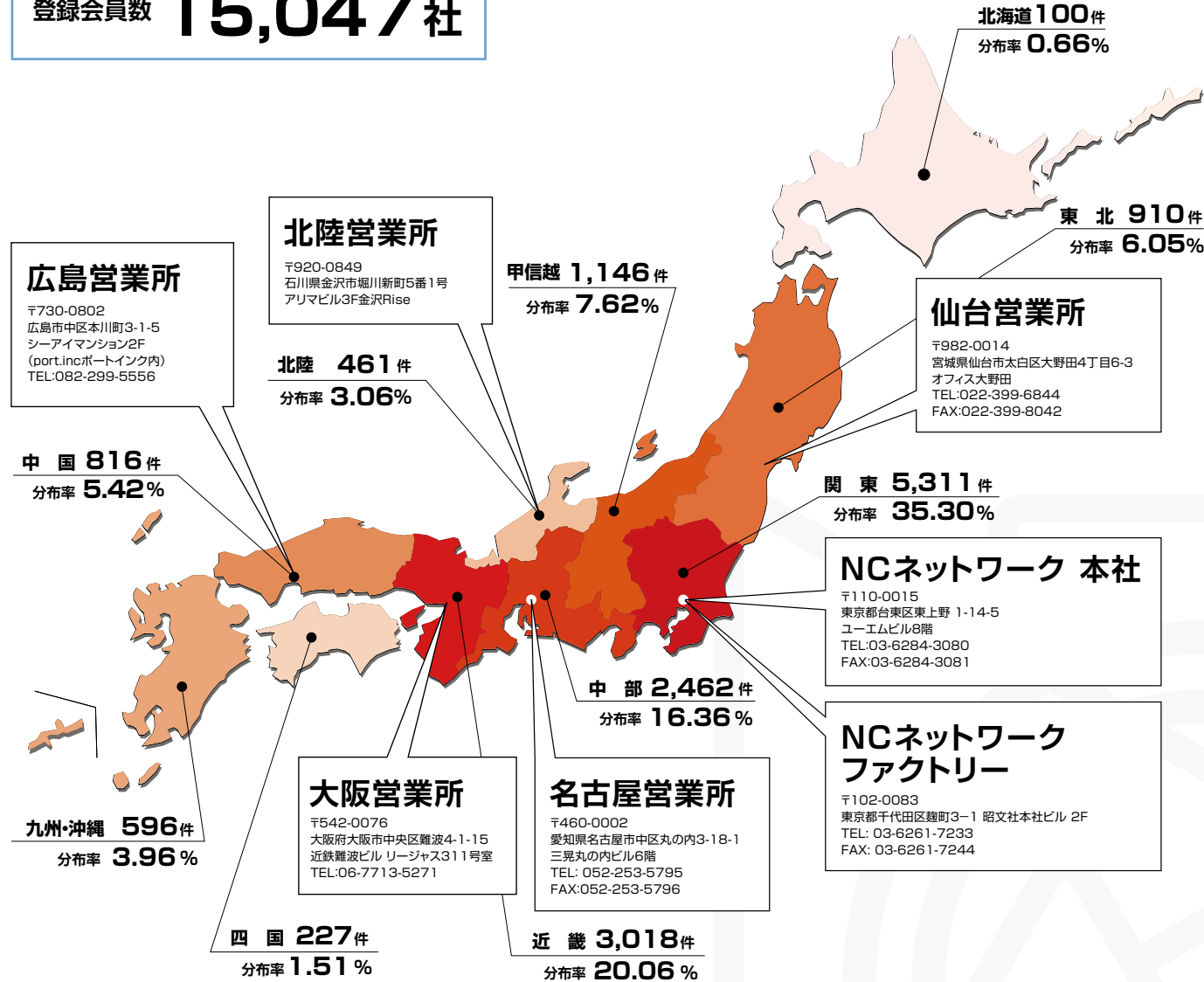
▶こちらの
QRコードから
是非ご覧ください。



国内

NCネットワーク

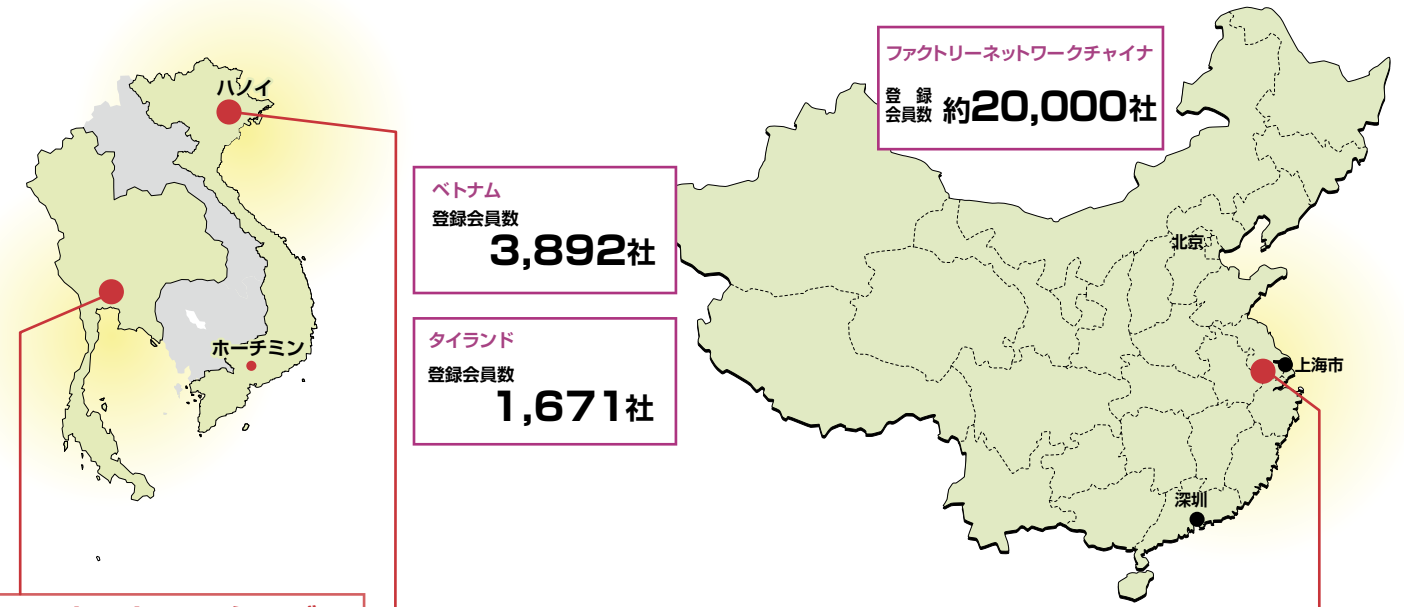
登録会員数 **15,047 社**



地域別登録数

都道府県名	登録会員数/社	都道府県名	登録会員数/社	都道府県名	登録会員数/社	都道府県名	登録会員数/社	都道府県名	登録会員数/社
北海道	100	埼玉県	1,069	岐阜県	357	鳥取県	50	佐賀県	32
青森県	43	千葉県	341	静岡県	642	島根県	38	長崎県	45
岩手県	95	東京都	1,987	愛知県	1,289	岡山県	204	熊本県	70
宮城県	172	神奈川県	1,016	三重県	174	広島県	446	大分県	55
秋田県	104	新潟県	438	滋賀県	160	山口県	78	宮崎県	64
山形県	194	富山県	166	京都府	330	徳島県	35	鹿児島県	47
福島県	302	石川県	174	大阪府	1,940	香川県	69	沖縄県	11
茨城県	312	福井県	121	兵庫県	457	愛媛県	88		
栃木県	210	山梨県	134	奈良県	84	高知県	35		
群馬県	376	長野県	574	和歌山県	47	福岡県	272		

海外



NCネットワークアジア

NC Network Asia Co., Ltd.

No.142 Two Pacific Place,11th Floor,
Unit 1102,
Sukhumvit Road, Klongtoey,Klongtoey,
Bangkok 10110 Thailand

- タイ製造業関連企業データベースサイトの運用
- タイ製造業関連のフリーペーパーの発行
- 商談会やイベントの開催・運営
- 各種リサーチ

NCネットワークベトナム

NC Network Vietnam, JSC.,

Email : info@nc-net.vn
14th floor, Machinco building, No.444, Hoang
Hoa Tham Street, Tay Ho District, Hanoi, Vietnam

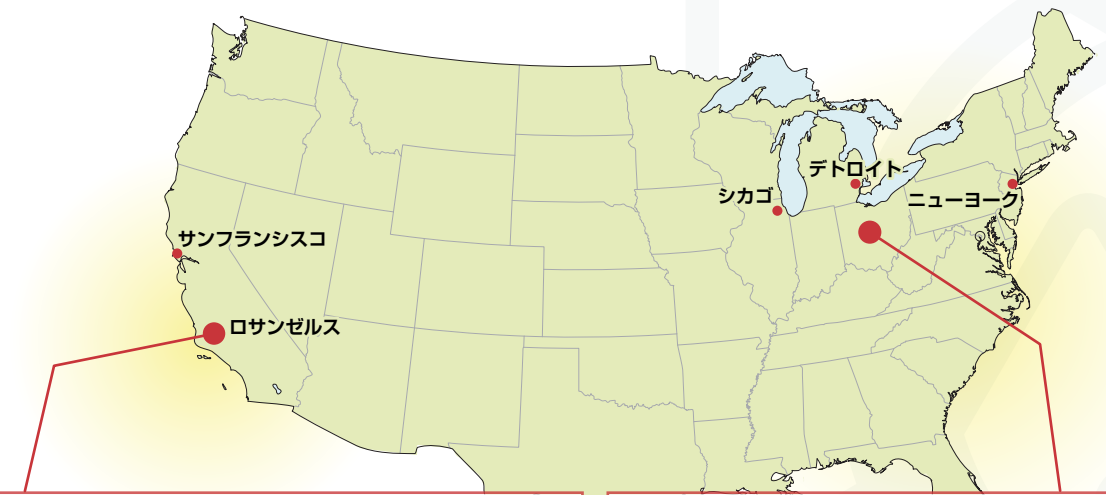
- ベトナムから調達のために「現地調達支援」
- ベトナムへ進出のために「現地進出支援」
- ベトナム調達前の「簡単調査」

ファクトリーネットワークチャイナ

Factory Network China Inc.

上海市長寧区延安西路2201号上海国際貿易中心2階268室

- 中国工場・製品データベース検索、中国製造業ニュース、中国製造業向けビジネスマッチングサービス、製造業向け中国語雑誌発行
- 中国に進出した日本ものづくり企業様向けの様々な中国内販支援サービス



NCネットワークアメリカ ロサンゼルス本社

NC Network Inc.

21171 S.Western Avenue Suite 2814 Torrance CA 90501
TEL : +1-310-755-2516 Email : usa@ncnfactory.com

- 米国での製造業向け情報発信及び、試作・量産等の部品加工受託事業
- 日本製造業の米国進出、営業所代行、マーケティング支援など

NCネットワークアメリカ オハイオ・テクニカルセンター

NC Network Inc.

5650 Blazer Parkway, Suite 100,Dublin, OH 43017
Email : usa@ncnfactory.com

- 米国での製造業向け情報発信及び、試作・量産等の部品加工受託事業
- 日本製造業の米国進出、営業所代行、マーケティング支援など

新しい取引先を見つける

サービス	概要	金額
マーケティング総合サポート	新規顧客を呼び込むマーケティング総合支援 顧客ターゲットなどの目標設定マーケティング計画立案	33万円/月
エミダス会員	エミダス・プロ エミダスを活用した運用サポート ・製品掲載 最大3,000ページ ・スタッフサポートあり ・WEBページメンテナンス無料 ・グーグルアナリティクスではできない訪問企業管理	5.5万円/月 ※別途初期費用
	エミダス・プロライト ・製品掲載 最大50ページ ・グーグルアナリティクスではできない訪問企業管理	1.1万円/月 ※別途初期費用
	会員専用ページ（アクセス確認）	
ダイレクトメール	エミダス会員企業社員約3万人への定期発信 各種条件絞り込みによる企業への個別発信	33万円/回～ 応相談
バナー広告	月間ページビュー100万	33万円～ （複数枠から選択）
販促ツール制作	ホームページ制作 ・製造業に合うページ構成や表現など、専門性に特化	165万円～
	ランディングページ制作 ・個別製品や技術をピックアップ	55万円～
	動画 プレミアム動画 ・会社PR、リクルーティングにも活用できる	165万円～
	簡単動画 ・ショートムービー形式の技術紹介など	66万円～

※価格は税込み

新しい協力工場を探す

サービス	概要	金額
ソーシングサービス ※会員限定サービス ※詳細はP48・49	サプライヤーデータベース検索 登録工場共有・評価システム	33万円/月
(オプション)	サンプル回収 取引窓口代行 海外サプライヤー調査等 「データベースマガジン」年4回配布	

海外展開

■売りたい

商談会（FBCものづくり商談会） ※会員限定サービス	ブース商談会 オンライン商談会	16.5万円～
エミダスマガジン（海外版）	広告掲載	要問合せ
競合・同業調査		要問合せ
海外メディア	中国：WECHAT（10万フォロワー） タイ・ベトナム：現地SNS（4～5000フォロワー）	要問合せ

■買いたい

商談会（FBCものづくり商談会） ※会員限定サービス	ブース商談会 オンライン商談会	16.5万円～
協力工場開拓調査		55万円～

■海外進出したい

進出準備ワンストップサービス	FS調査や駐在員事務所開設手続き 駐在員事務所業務請負（住所・秘書等）	33万円/月～
----------------	--	---------

※価格は税込み

お申込み・お問い合わせ：emidasg@nc-net.or.jp



探していた工場が 見つかる!

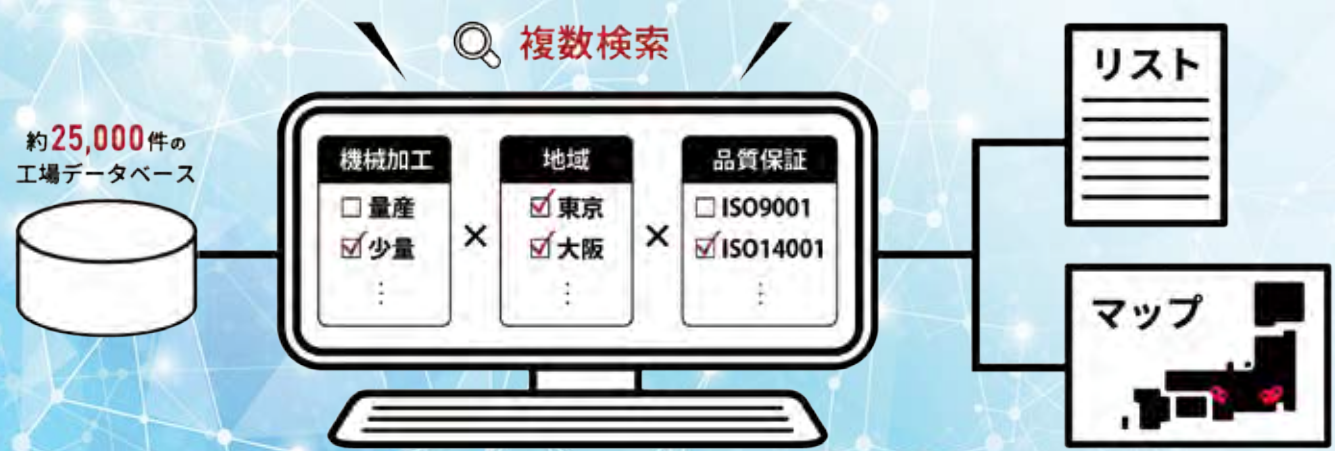
共有できる
連絡できる

試作・量産をはじめとした最先端・次世代技術を繋ぐ

登録工場数
国内外
25,000件

EMIDAS エミダスソーシングサービス

- 地域・保有設備
認証等から
絞り込んで
簡単検索
- 見つけた企業が
何が得意で
何に特化しているか
一目瞭然
- ブックマークした
企業を
社内へ共有
取引経緯も
簡単に管理
- 複数の企業に
まとめて連絡
連絡状況も
社内で共有



《《 1週間無料トライアル実施中 》》

／ お目当ての工場が見つかります！ ／

工場探してこんなお悩みありませんか？

- Web で工場を探しているがなんと検索すればいいのかわからない
- やっとたどり着いたホームページに連絡してみるとすでにあの設備がない...
- 急ぎの相談をしたいが1社1社見積依頼すると時間がかかる
- 購買個人にサプライヤーが依存していて社内共有が出来ない

エミダスが
未来を変える
お手伝い

そんなお悩みもソーシングで解決！

エミダスソーシングサービス

検索

エミダスは、会員登録者数25,000社以上を誇る、製造業に特化したWEBサイト（ポータルサイト）です。

エミダスソーシングサービス3つの特徴

- 地域や保有設備から適切な工場を検索可能**
加工先の選定に必要な「保有設備」や「ISO認証」「地域」等と紐づいた工場データが国内外25,000社に登録されています。
- 最新のデータで工場をブックマーク**
一度ブックマークした企業データは常に工場側からアップデートされ最新情報に更新されます。ブックマークした企業の詳細データやコメントなどを、グループ内で共有することが可能です。
- 複数の企業へまとめて連絡**
お急ぎの相談や試作・開発案件など用途に合わせて、最大10社までまとめて連絡できます。連絡状況も社内で共有でき、見積回答漏れなどのチェックが簡単になります。



EMIDAS エミダスソーシングサービス

初期費用 110,000円(税込) 年間 396,000円(税込)～

《《 1週間無料トライアル実施中 》》

お問合せ・資料請求



編集後記

代表取締役社長 内原 康雄

鉄が溶けて、新しい形になるのを見ていると、感動すら覚えるのはなぜだろうか？
NCネットワークでも、数多くの鑄造会社で、ビデオを撮影させていただいたが、鑄造工場ほど圧倒的な迫力がある映像はない。
鑄造は、日本刀時代から、日本の鉄を作る文化でもある。
刀鍛冶や、もののけ姫で有名なタタラ製鉄など、日本古来からの文化だ。
その技術は、モーター、自動車、ロボットなど様々な部品技術として進化してきた。
本取材を通じて、現代の製造業にどう供給されているのか、少しでも理解が深まればと思う。

阿部 朱夏

今回のエミダスマガジンでは、北は宮城から南は神戸まで訪問し、数件の記事を担当させていただきました。取材を通して、ダイカストに限らず、その技術や経験を活かし新技術や代替燃料を開発することで、職場環境や地域への貢献されていることも知りました。企業がどのような目標を掲げ、どのような世界を目指していくのか、その行く末が非常に楽しみです。取材にご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。

高橋 鴻

鑄造ダイカストの工場訪問経験が浅い私にとって、今回の特集は勉強としても有意義な機会となりました。一社一社特徴が違い、何より彼らの情熱や技術を間近に見ることが出来とても光栄でした。また、業界特有の技術用語や専門知識への理解が乏しい私にとってマガジン取材はハードルの高い仕事だと都度痛感いたします。しかし、いつも取材先の方々が丁寧に教えてくださり学ぶことが出ています。このご厚意を忘れず今後の執筆活動に勤しんで参ります。

大谷 太一郎

新入社員の大谷です。入社後初めての業務でエミダスマガジンに携わらせていただきました。一口に鑄造と言っても大きさや素材、鑄造方法も様々でとても勉強になりました。それぞれの会社様が持つ魅力や強みが伝わるよう精一杯取り組ませていただきました。
これからも勉強させていただければと思います。引き続きよろしくお願いいたします。

齋藤 優香

今回の鑄物ダイカスト特集では2社、担当させていただきました。テーマについては知らないことが多く、それぞれの会社様の個性・技術を直に聞くことができて勉強になりました。
今後も様々な分野を学んでいきたいと思っています。宜しくお願い致します。

河野 桃子

はじめて鑄造の工場に足を踏み入れた、その熱気は忘れられません。
“ものづくり”の歴史と文化、その発展を感じて興奮したことを覚えています。
今号では17社の企業様にインタビューし、また多数の企業様にアンケートなどにてご協力いただきました。それぞれの視点から、現在地が見えてくることと思います。その先に、鑄造の、ひいてはものづくりの未来が広がれば幸いです。
ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。

NCnetwork

NCネットワークの発行物

エミダスデータベースマガジン

発行部数：約 2,000 部 定価：50,000 円 (税込)

- 約2万社のエミダス会員データをまとめた“町工場電話帳”
- 大手メーカーの購買や行政機関、研究機関、学校に配布
- 約3年かけて日本全国のエミダス会員を網羅予定
- 「エミダスソーシング」ご契約で毎号無料お届け

発刊予定

2023年

- ◆7月 神奈川・山梨
- ◆10月 北陸・新潟

2024年

- ◆1月 静岡・長野
- ◆4月 北海道・東北
- ◆7月 西日本
- ◆10月 金型



海外版マガジンのご案内



月刊エミダスベトナム

年12回発行 (毎月15日)
発行部数 5,000部

- 在ベトナム日系製造業や製造業関連企業に配布
- 日本食レストランなどへ設置



エミダスマガジンタイ版

年6回発行 (奇数月1日)
発行部数 10,000部

- 在タイ日系工場に配布
- 日本食レストランなどへ設置



FNA マガジンチャイナ

年4回発行
発行部数 約50,000部

- 日系企業約8,000社と中国企業約15,000社に配布
- 日本食レストランなどへ設置

日本版
エミダスマガジンの
バックナンバーは
電子版を無料で
ダウンロード可能



EMIDAS magazine

発 行
株式会社 NCネットワーク
〒110-0015
東京都台東区東上野 1-14-5 ユーエムビル8階
TEL : 03-6284-3080 FAX : 03-6284-3081
MAIL : mag@nc-net.or.jp

発 行 人 : 内原 康雄
編 集 人 : 河野 桃子
制 作 : プリ・テック株式会社

株式会社NCネットワーク
URL : <https://www.nc-net.or.jp/>
Facebook : ncnetwork
Twitter : @ncnetwork

非売品につき購読のお申込みは mag@nc-net.or.jp までご連絡ください。